



令和元年度 2019

学校要覧

独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校



GUIDE BOOK 2019

NATIONAL INSTITUTE
OF TECHNOLOGY (KOSEN),
WAKAYAMA COLLEGE



知能機械工学科

Department of Intelligent Mechanical Engineering



電気情報工学科

Department of Electrical and Computer Engineering



生物応用化学科

Department of Applied Chemistry and Biochemistry



環境都市工学科

Department of Civil Engineering

和歌山工業高等専門学校校歌

作詞 四宮春行
作曲 片山穎太郎

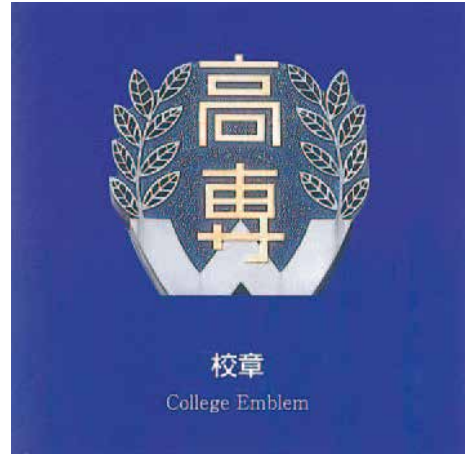
ほがらかに ♩=88

あ え び こん だ ね じ ゃ か の が の う は か の ら ま わ の の あ み き お ど よ き う ま み み つ ぜ ほ と な て き が れ く か て

ひ わ や ー ら ま ー き ぬ な な が が さ さ ま ま に に わ わ こ こ う ど と の ち い そ か の み い ち

い い や や と か お お た も く く ま ま な く び と み お き み さ わ が め ん かん あ あ (ア ア) あ あ (ア ア) あ

あ あ ー ー わ が ま な び や ー



和歌山のWと山の2字を併せて型取った台の上に、高専の2字を乗せ、それを左右から蜜柑の木の若枝で抱きかかえたものである。

校歌

作詞 四宮春行
作曲 片山穎太郎

一、阿古根の浦の 碧き海

果てなく広き 汝が姿に

若人希望 いや遠く

学業修めむ ああ我が学園

二、煙樹ヶ浜の 翠り松

常磐渝らぬ 汝が姿に

若人誓願 いや固く

真理究めむ ああ我が学園

三、日高の川の 浄き水

流れて息まむ 汝が姿に

若人使命 いや重く

技術磨かむ ああ我が学園





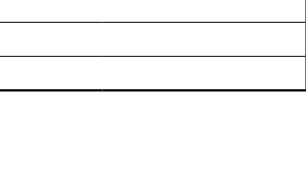
校 長
角田 範義

和歌山高専は、幅広い分野で活躍できる工学系人材を養成する高等教育機関として多数の実践的・創造的な技術者を社会に送り出しています。1964年創設、1969年に土木工学科を設置以来、機械、電気、工業化学と合わせた4学科体制で教育・研究を推進してきました。商船高専を除く4学科以上の高専の多くは、機械、電気系が複数存在していますが、性格が異なる4学科で構成される和歌山高専は珍しい存在です。工学分野は産業基盤を支えるだけでなく社会構造の進展に合わせた人材の養成が求められます。その変化に対応すべく、本校は、機械工学科→知能機械工学科、電気工学科→電気情報工学科、工業化学科→物質工学科→生物応用化学科、土木工学科→環境都市工学科と学科名の変更及び教育内容のアップグレードを実施し、基盤技術のみならず先端技術にも対応できるような教育・研究体制の下、現在も進化しています。

和歌山高専は、ロボットや防災を中心に地域貢献を進めるだけでなく、現在、地域創生に向け新産業育成と人材の地元定着を目標とするCOC事業を実施しています。特に、人材育成については、ダイバーシティや男女共同参画社会の流れを念頭に置き、工学系が男子の分野であるというイメージを払拭するために女子力の強化に努めています。現在の少子化による人口の減少は産業界での深刻な問題であり、能力的に男性と差のない工学系女子に対する期待は強くなっています。様々な入試の機会を捉えた女子の希望者の掘り起こしは、現在の高専における重要な課題の一つです。ガールズKOSENステイ、体験実習入試などの仕組みは工学系女子の獲得に向け着実に実を結んでいます。和歌山高専の特徴を強くアピールするプロジェクト等も準備しています。今後を期待していただければと思います。

最後に、本校は、講義のほかに実験・実習に重点を置いた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した想像力に富み、人間性豊かで、また、国際社会にも貢献できるエンジニア育成を目指すとアドミッションポリシーで謳っています。そして、新産業の創成を念頭に教員の研究力向上も目指しています。保護者の方々や後援会、同窓会、本校をご支援いただいている皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも本校の発展にご支援くださるようお願い申し上げます。

沿革

1964 (昭和39年) 4月1日	機械工学科、電気工学科及び工業化学科の3学科で発足した。 (昭和39年法律第9号、入学定員各科40名、計120名)	
1965 (昭和40年) 4月12日	御坊市名田町野島77番地に本校舎を移転した。	
1969 (昭和44年) 4月1日	土木工学科を設置した。(入学定員40名)	
1993 (平成5年) 4月1日	工業化学科を物質工学科に改組した。(入学定員40名)	
1994 (平成6年) 4月1日	土木工学科を環境都市工学科に改組した。(入学定員40名)	
1995 (平成7年) 4月1日	総合技術教育研究センターを設置した。	
2002 (平成14年) 4月1日	専攻科(メカトロニクス工学専攻、エコシステム工学専攻)を設置した。 (各定員8名、修業年限2年)	
2003 (平成15年) 4月1日	総合技術教育研究センターを地域共同テクノセンターに改称した。	
2004 (平成16年) 4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構が設立され、同機構が設置する国立高等専門学校となった。 電気工学科を電気情報工学科に改めた。(入学定員40名)	
2008 (平成20年) 5月19日	ロボット教育センターを設置した。	
2009 (平成21年) 4月1日	機械工学科を知能機械工学科に改めた。(入学定員40名)	
2010 (平成22年) 4月30日	国際交流会館を設置した。	
2013 (平成25年) 4月1日	旧実習工場の改修工事を終え、ものづくりセンターとして供用を開始した。	
2014 (平成26年) 9月1日	寄宿舎8号館(新営)の供用を開始した。(定員100名)	
2014 (平成26年) 11月29日	創立50周年記念式典を挙行了した。	
2017 (平成29年) 4月1日	物質工学科を生物応用化学科に改めた。(入学定員40名)	

歴代校長

氏名	在任期間
初代 澤井八洲男	1964(昭和39年).4.1~1972(昭和47年).3.31
2代 工学博士 近藤繁人	1972(昭和47年).4.1~1980(昭和55年).4.1
3代 工学博士 市原松平	1980(昭和55年).4.1~1985(昭和60年).3.31
4代 工学博士 阿河利男	1985(昭和60年).4.1~1991(平成3年).3.31
5代 工学博士 岡本平	1991(平成3年).4.1~1997(平成9年).3.31
6代 理学博士 興地斐男	1997(平成9年).4.1~2003(平成15年).3.31
7代 山本博	2003(平成15年).4.1~2004(平成16年).12.30
8代 葦澤弘志	2005(平成17年).4.1~2009(平成21年).3.30
9代 堀江振一郎	2009(平成21年).4.1~2016(平成28年).3.31
10代 理学博士 角田範義	2016(平成28年).4.1~

校長挨拶 <http://www.wakayama-nct.ac.jp/gakkou/>

名誉教授

氏名	田縁正幸	葦澤弘志	博士(英語学) 森川寿
玉置邦太郎	博士(工学) 谷口邁	工学博士 藤原昭文	工学博士 溝川辰巳
鈴木正義	溝口幸美	博士(工学) 坂田光雄	堀江振一郎
工学博士 岡本平	西芝茂樹	渡邊仁志夫	博士(工学) 西本圭吾
山岸昭英	博士(工学) 猪飼健夫	博士(工学) 久保井利達	博士(工学) 中本純次
博士(工学) 宮原一典	尼田正男	博士(工学) 福田匡	
工学博士 橋口清人	工学博士 佐々木清一	博士(工学) 徳田将敏	
吉川壽洋	工学博士 高木浩一	工学博士 藤本晶	
原敏晴	富上健次郎	医学博士 山川文徳	
理学博士 興地斐男	工学博士 小川一志	工学博士 大久保俊治	

目次

1. 和歌山工業高等専門学校 概要	2	10. メディアセンター	27
2. 組織	6	図書館	
組織図・運営図		情報処理教育センター	
教職員数		11. 進路	28
教員の年齢構成・男女別構成		〈本科進路〉	
3. 知能機械工学科	7	就職	
教員・非常勤講師		大学等編入学	
教育課程		2018年度（平成30年度）本科卒業生進路先一覧	
4. 電気情報工学科	10	〈専攻科進路〉	
教員・非常勤講師		大学院進学（専攻科）	
教育課程		専攻科就職先一覧	
5. 生物応用化学科	13	12. 学生	32
教員・非常勤講師		〈本科〉	
教育課程		学生の定員及び現員	
6. 環境都市工学科	16	入学志願者及び入学者	
教員・非常勤講師		高校からの編入学志願者及び編入学者	
教育課程		〈専攻科〉	
7. 総合教育科	19	学生の定員及び現員	
教員・非常勤講師		入学志願者及び入学者	
教育課程		外国人留学生	
8. 専攻科	22	在学生の出身地	
メカトロニクス工学専攻		奨学金	
エコシステム工学専攻		授業料免除	
教育課程		クラブ活動	
9. 研究活動・地域との連携	25	学生会	
地域共同テクノセンター		学生寮（柑紀寮：こうきりょう）	
地域産業との技術交流		13. 学年暦・学校行事	36
科学研究費補助金		14. 校舎配置図	38
外部資金の導入		15. 施設・支援	39
公開講座		16. 会計	40
出前授業		2018年度 決算	
大学等開放推進事業			



1. 和歌山工業高等専門学校 概要

和歌山高専の教育研究理念

本校は、5年間の一貫教育を通じて、エンジニアとしての素養を身につける基礎教育と、実践を重視した専門教育を効果的に行うことにより、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と問題解決能力を身につけ、豊かな人間性と国際性を備えた人材の育成を目指します。

とりわけ自然環境に恵まれた和歌山県中南部に位置する本校は、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦します。

こうした環境と地域連携を考慮した教育・研究活動が、国際社会へもアピールできるよう努力を重ねます。



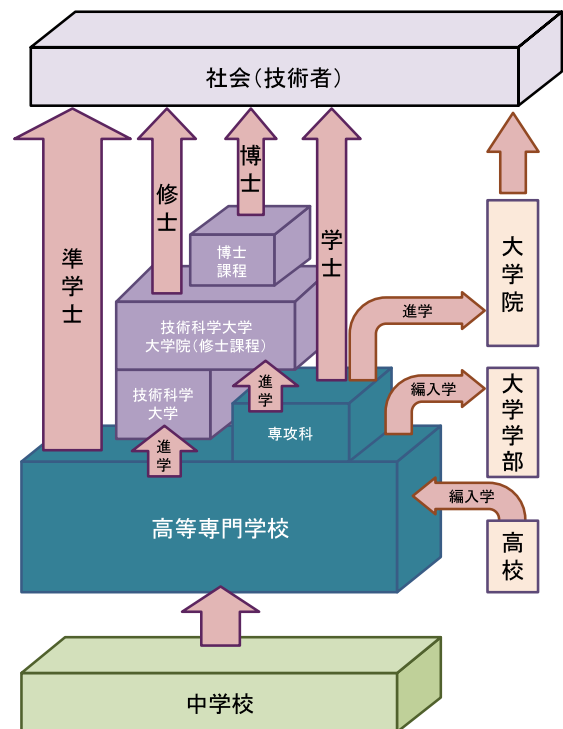
和歌山高専は、5年間の一貫教育により、すぐれた技術者を育成

高等専門学校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的として設置された、中学校卒業程度を入学資格とする高等教育機関です。豊かな教養と専門の工学とを身につけた技術者の育成を使命として、5年制の一貫教育を行っています。

和歌山工業高等専門学校は、1964（昭和39）年に設置されました。現在、**知能機械工学科、電気情報工学科、生物応用化学科、環境都市工学科**の4学科を有しています。2002（平成14）年には、専門的なエンジニアを育成するため、**メカトロニクス工学専攻**および**エコシステム工学専攻**の専攻科（修業年限2年、定員各8名）が設置されました。2019（令和元）年5月現在、学生総数は864名です。

本校の教育目的は、理論を実践面に生かす柔軟な頭脳をもった技術者を育成することであり、一般科目と専門科目を有機的に関連させた特色ある教育課程を編成し、少人数教育とあわせてきめ細かな教育を提供しています。

また、全人教育の重要性から1968（昭和43）年以後、低学年全寮制を導入し、それによって培われる自治と規律の精神は、企業からも高い評価をいただいています。



和歌山高専の特色ある教育

技術者教育は、「ものづくりの教育」です。技術者は理論だけでなく、実際に手を動かして体で覚える面も必要です。本校では、実験・実習を重視した教育をすることで、ものづくりに必要なセンスを養います。本校が展開する技術者教育の特色は次のとおりです。

・実験実習の重視

ものづくりのセンスは、実際にものに触れ、体験することで養われます。入学当初から授業に実験実習を多く取り入れるとともに、研究や企業でもものづくりの経験がある教員が指導します。

・基礎教育と専門教育の連携

低学年の数学や物理などの一般科目（基礎教育）から高学年の専門教育へ切れ目のない連携により大学卒業より2年早く実践的な技術者を育てています。

・インターンシップは全学生が体験

企業などにおいて製造や製品開発などの現場を体験することにより専門やものづくりへの興味を深めています。第4学年ほぼ全員が1～2週間インターンシップを体験しています。

・人間教育の重視

全国有数の大規模寮を利用した全人教育や、大学入試にわずらわされないクラブ活動など、特色ある教育を展開しています。

外部評価

和歌山高専は、積極的に外部機関による客観的な評価を受けています。それは本校の対外的な認知とともに、教育における質保証と透明性の確保のためです。主な外部評価は、機関別認証評価とJABEEの二つです。

機関別認証評価

2012年度、本校は、（独）大学改革支援・学位授与機構により、高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準をすべて満たしている、との評価を得ました。機関別認証評価は、学校の目的、教育内容や成果、財務、管理運営、研究活動などの幅広い観点から審査されるものです。

JABEE（日本技術者教育認定機構）

2018年4月日本技術者教育認定機構（JABEE）の継続審査を受けた本校は、「地域環境デザイン工学」のプログラムによって、高等教育機関の実施する技術者教育として社会の要求水準を満たしていると認定されました。

大学等との交流（推薦制度等）

和歌山高専専攻科には、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、北陸先端科学技術大学院大学等への大学院推薦入試制度があります。

また、本科・専攻科は、2006年3月に大阪大学工学部／大学院工学研究科、2007年10月に大阪大学基礎工学部／大学院基礎工学研究科、2007年3月には京都大学工学部・大学院工学研究科と教育研究交流協定を結び、緊密な交流を推進しています。2015年3月に和歌山大学システム工学部と編入学学生のための単位互換に関する協定を結びました。

さらに、2007年11月に和歌山県教育委員会と和歌山県内工業高校との連携協力包括協定を締結しました。

2018年3月には鳥羽商船高専と包括連携協定を締結し、防災に関する相互協力や特に海洋面での教育及び学術研究交流を推進していきます。2018年5月には、この連携協定企画として、「鳥羽丸」が日高港に入港しました。



海外との交流

和歌山高専は、「国際性を備えた人材の育成」を図る施策の一つとして、上海電機学院（中華人民共和国）との交流を行っています。2002年に交流協定を締結、2004年より学生交流が始まり、年1回、10数名の学生が、約2週間の相互訪問を行っています。

2011年3月にこれまでの協定を発展させ、相互の学校において正規課程修了のための修学が可能となる新たな協定を締結し、本格的な相互留学ができるようになりました。

また、国際的に開かれた学園を目指すために2010年春には国際交流会館を設置しました。

さらに、2016年8月にアトマジャヤ大学（インドネシア共和国）、2016年9月にはスラバヤ工科大学（インドネシア共和国）、2017年9月にはボゴール農科大学（インドネシア共和国）と学術交流協定を締結しました。

グローバル化に対応する学生の留学支援では、文部科学省と（独）日本学生支援機構が実施している「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～」を利用して毎年数名の学生が短期留学をしています。

2019年5月現在、5ヶ国9名の留学生在が本科に在籍し、日本人学生とともに卒業をめざして学んでいます。

学生の活躍

学生の研究発表、コンテストへの参加、クラブなどの活動により多くの成果をあげています。2018年度の主な活躍は下記のとおりです。特に、専攻科生が国内外の国際会議で活発に研究発表を行い、ポスタープレゼンテーション賞をはじめ多くの賞を受賞しました。



サイエンスキャスル2018関西大会で優秀賞

物質工学科3年の学生2名が、2018年12月に大阪で開催された大会で「和歌山県の温泉水を用いたメタンハイドレート採掘技術」について研究発表し優秀賞を受賞しました。



国際会議で最優秀プレゼン賞を受賞

専攻科生が、2018年10月にインドネシアで開催されたThe 4th International Biology Conference -2018でホルムアルデヒドを分解する微生物の遺伝子に関する発表で最優秀ポスタープレゼンテーション賞を受賞しました。



「インターナショナルロボットハイスchool」で最優秀研究報告賞を受賞

知能機械工学科5年生の学生が、2018年9月に東京ビッグサイトで開催された「インターナショナルロボットハイスchool」で最優秀研究報告賞を受賞しました。



国際会議で最優秀論文賞を受賞

専攻科生が2018年8月にマレーシアで開催されたICASSDA 2018に松葉杖歩行の訓練装置の開発に関する論文投稿して採択され、さらに講演会で「Best Paper Award」を受賞しました。



第1回システム創成コンテストで入賞

電気情報工学科3年の学生3名は2019年3月東京で開催されたコンテストで「共同浴場の混雑状況を確認できるシステム」について発表とデモンストレーションを行い、特別賞を受賞しました。



第31回全国高専ロボコンでデザイン賞受賞

高専ロボコン 2018「Bottle-Flip Cafe」近畿大会でアイデア賞に選ばれ、11月の東京・両国国技館で行われた全国大会への出場を果たし、デザイン賞を受賞しました。

地域への貢献

和歌山高専は、和歌山県中南部地域で唯一の高等教育機関として地域の発展に貢献しています。御坊地域において和歌山高専産官学技術交流会への参加・支援を行っています。紀陽銀行との包括協定により、学生と県内企業との交流の機会を提供するために「産業勉強会」を開催しています。

また、小中学生向けの数多くの公開講座、出前授業などを開催するとともに「きのくにロボットフェスティバル」の実行委員会のメンバーとして毎年開催に協力しています。

- ・地元水産会社と本校の共同開発によりニシン廃棄部位を使用した魚粉肥料の製品化に成功し、地元のミカン生産に活用できるサイクルを確立しました。
- ・和歌山産官学技術交流会メンバー企業とわさびのハイブリッド型水耕栽培の共同研究に取り組んでいます。



和歌山高専の「地方創生プログラム」

本校が位置する和歌山県中南部地方は、自然環境に恵まれた土地柄ですが、少子高齢化や人口減少の傾向が著しく、先行きが不透明なため、地方創生が何よりも重要な課題となっています。

その中において、本校は2006年から一貫して教育理念の中に地域志向を盛り込んでおり、その経緯から2015年度には文部科学省から「地（知）の拠点（COC）大学」の認定を受け、「わかやまを知る若手エンジニアを育成し地域の未来を切り拓く―「地」の「知」の拠点としての和歌山高専―」の事業を推進しています。地域についての深い知識を持った人材を育てるために地域関連の科目や実験・研究の導入と地域に根差した人材を育てるための学生主導の公開講座の開設を行っています。今後もより一層地域色の強い教育・研究を目指していきます。

また、本校は和歌山大学が中心となって2015年度に採択された「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」にも参画しており、和歌山県立医科大学、和歌山信愛女子短期大学、近畿大学生物理工学部の他、多くの大学、和歌山県、地方公共団体そして企業等と協働し地域の課題に取り組んでいます。その目的は、学生にとって魅力的な働く場を和歌山県内に創出・開拓し、そして地域が求める人材の育成を行うことです。オール和歌山の大きな取組の中でも県中南部に位置する唯一の高等教育機関としてその責務を果たしていきます。



きのくにロボットフェスティバル 2018

地域に役立つ研究

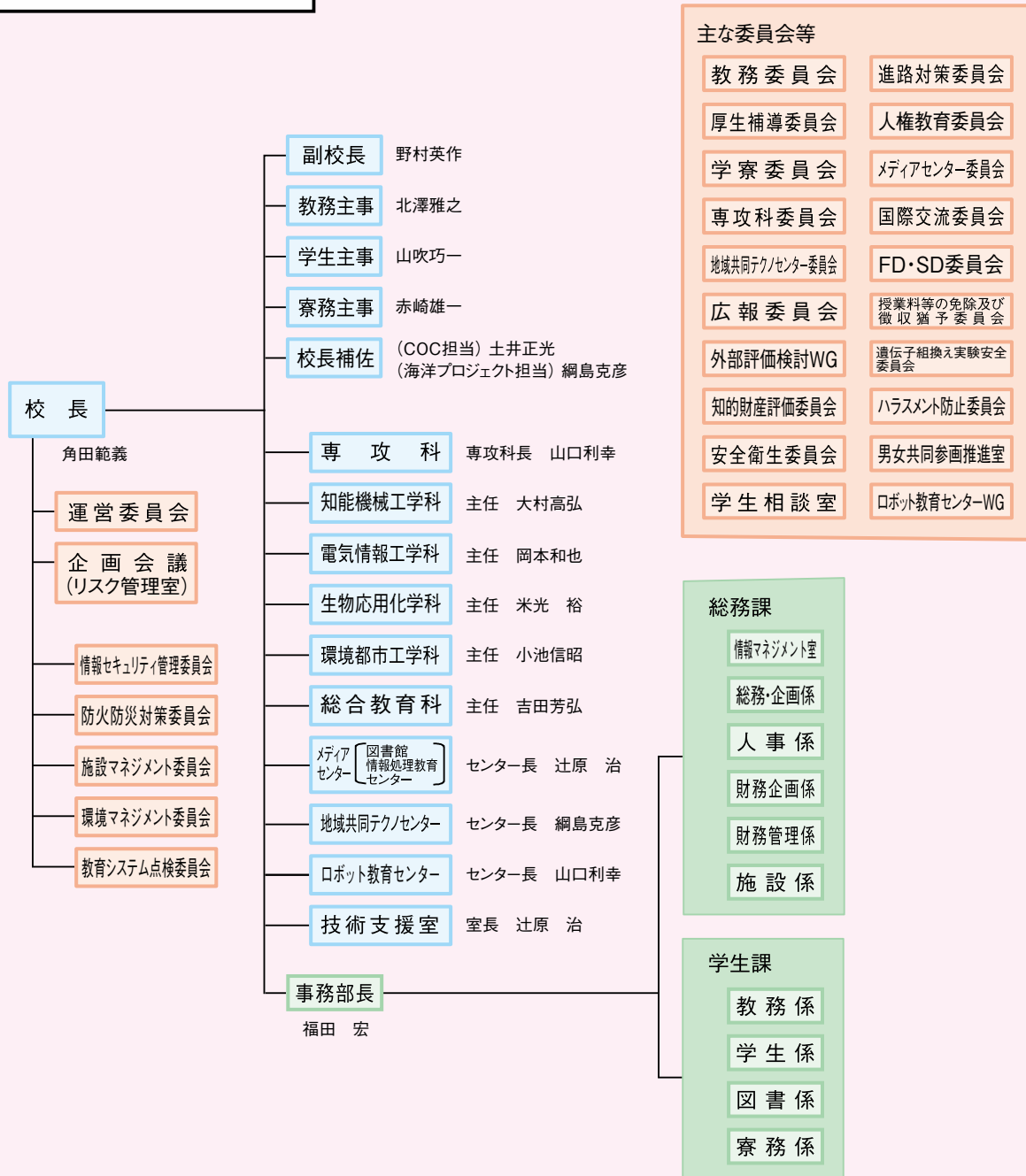
- ・地元市町村の求めに応じて「津波浸水ハザードマップ」を作成しました。
- ・地元自治体や教育機関を対象とした講演会などを通して、防災対策や防災教育の企画・実施を支援しています。
- ・梅などの農産物やウツボなどの海産物の食品加工や機能に関する技術開発を行っています。
- ・地方創生事業の一環として、「ふれあいと健康と企業のまち創生協議会」から研究委託を受け、美浜町の松林保護を目指した5つの研究テーマに全学科が協力して実施しました。
- ・和歌山県が実施する地域防災リーダーを育成するための防災に関する知識、技術を学ぶ「紀の国防災人づくり塾」に協力しています。



学生による「わかやま学」の発表会の様子

2. 組織

2019年度 組織図・運営図



教職員数

2019年5月1日現在

区分	校長	教授	准教授	講師	助教	教員計	職員	教職員計
現員	1	26	29	1	5	62	38	100
定員	1	26	29	1	5	62	39	101

※教員48人が博士号取得

教員の年齢構成・男女別構成

2019年5月1日現在

		知能機械工学科	電気情報工学科	生物応用化学科	環境都市工学科	総合教育科	計
年齢別	60歳以上63歳以下	1	1	3	1	4	10
	55歳以上60歳未満	1	2	1	1	6	11
	50歳以上55歳未満	2	2	2	0	5	11
	45歳以上50歳未満	0	2	3	4	2	11
	40歳以上45歳未満	2	0	2	0	0	4
	35歳以上40歳未満	2	2	1	2	1	8
	30歳以上35歳未満	1	1	0	2	2	6
	30歳未満	0	0	0	0	0	0
男女別	計	9	9	11	10	17	56
	女	0	1	1	0	3	5

(年齢は年度末年齢)

3. 知能機械工学科 Department of Intelligent Mechanical Engineering

あらゆる産業を支える「ものづくり」

機械工学の知識および技能は、機械・電気のみならず、化学、土木・建築、食品などの製造業や、鉄道、航空、空港、電力・ガスなどのインフラ産業でも必要とされています。あらゆる業種で活躍できる人材を育成するために、知能機械工学科では、カリキュラムを力学・材料系、熱・流体系、設計・工作系、情報・制御系の4分野で編成し、教育しています。



工作実習(旋盤加工)

「ものづくり」エンジニアになるために

知能機械工学科は5年間で「ものづくり」に関する教育を行っています。一般教養科目および機械工学科目の授業を通じて機械技術の急速な進歩に対応できる基本的知識を身につけます。また、1年～3年までの工作実習、および4年、5年の工学実験を通じて「ものづくり」エンジニアに必要な技能、態度、熱意を身につけます。



ロボット創作実習

情報制御に強い「ものづくり」エンジニア

近年、ロボットやIoT技術にも精通した機械技術者が産業界で求められています。そのニーズに応えるべく、知能機械工学科では、学生は「機械」だけでなく「情報・制御」に関する専門知識と技能を習得します。情報制御に関する専門知識を身につけた上で、自らが計画・実行・検証する自主実験や卒業研究に取り組みます。



自主実験(ロボットの制御)

「ものづくり」エンジニアの理念

ものづくり企業は、所定の機能を満たし、安全性が確認できるものを製作しますが、製作したものが社会および地球環境にとって有益なものであることが前提となります。知能機械工学科は、卒業研究を通じて持続可能な社会・環境の形成に貢献できるエンジニアの育成を目指します。

卒業生プロフィール

今井 優希 三菱電機(株) 冷熱システム製作所 圧縮機製造部圧縮機品質管理課試験グループ (知能機械工学科2017年3月卒)

・自己紹介

現在私は三菱電機で業務用エアコンの中にある圧縮機の品質管理業務に携わっております。品質管理といっても普通の品質管理ではなく開発寄りの業務に携わっています。

・高専の魅力

高専は普通の学校には無い自由な校風ですので、青春を謳歌する事も資格等を取っ得しこれからの社会生活や就活に活かすことも出来ます。誰かが教えてくれる訳では無いので積極的な行動が求められますが、それさえ出来ていれば学生生活も社会生活も楽しめると思います。遊びも程々に勉強も頑張ってください！



和歌山高専が求める学生像

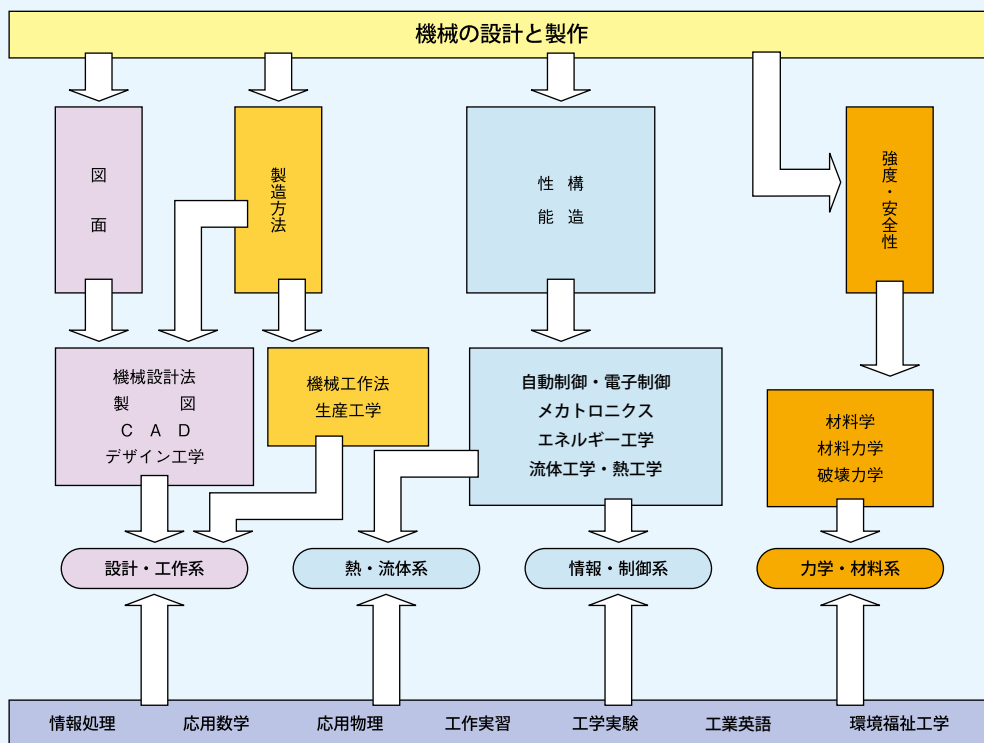
- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

知能機械工学科が求める学生像

- ・ロボットなどの知的機械を自作するための知識と技術を学びたい人
- ・自らの工夫で新しい装置を創造する意欲のある人
- ・機械工学を通して人と地球にやさしい社会の形成に貢献したい人



卒業研究(発表会の様子)



卒業生プロフィール

和田 千鈴 サントリービール(株) 武蔵野ビール工場 醸造部門醗酵貯酒G (知能機械工学科2017年3月卒)

・自己紹介

現在、サントリービール武蔵野工場の中味部門初の女性オペレータとして働いています。中味部門とは、お客様にお届けするビールを製造する部署です。生き物である酵母を利用するビール作りは毎日美味しいビールを作ることが非常に難しいです。しかし、設備と生物を人が繋ぎ、ものを造り出すというこの仕事は非常に魅力的です。

・高専の魅力

仕事をする上でとても大切なのは人間関係です。その点、高専は個性豊かな15歳から22歳までの在学生がいるため人間関係の基礎を学ぶには非常に恵まれた環境だと思います。また、高専では幅広い知識の基礎を学ぶことができるので自分の得意分野を見つけやすく「将来どんな仕事に携わりたいか?」を具体的に描くことができるため、自分がやりがいを感じられる就職先を見つけやすいと思います。



知能機械工学科 教員

職名	氏名	担当科目
教授	博士 (工学) 大村 高弘* OHMURA Takahiro	応用数学、熱力学、工業熱力学、 機械工学実験、機械工学概論、 熱流体工学*
	博士 (工学) 樫原 恵藏* KASHIHARA Keizo	材料学、機械設計製図、工作実習、 機械工学実験、 材料科学*
	博士 (工学) 北澤 雅之* KITAZAWA Masayuki	機構学、機械設計法、機械システム工学、 機械設計製図、工作実習、ロボット創作実習、 電子制御、機械工学実験
准教授	博士 (工学) 山東 篤* SANDO Atsushi	工業力学、振動工学、材料力学、 工作実習、機械工学実験、 数値計算・解析法*
	博士 (工学) 津田 尚明* TSUDA Naoaki	工作実習、自動制御、情報処理、 情報工学、機械工学実験、 ロボット工学*
	博士 (工学) 早坂 良* HAYASAKA Ryo	応用数学、水力学、流体力学、 コンピュータ入門、流体工学、機械工学実験、 機械工学概論
	工学修士 三原 由雅* MIHARA Yoshimasa	機械設計法、機械設計製図、 工作実習、ロボット創作実習、 機械工学実験
	博士 (工学) 村山 暢 MURAYAMA Toru	長期海外出張
助教	博士 (工学) 田邊 大貴* TANABE Daiki	機械工作法、工作実習、ロボット創作実習、 機械工学実験、 精密加工学*

非常勤講師

所属	氏名	担当科目
元・日立金属㈱	佐々木俊明*	環境・福祉工学、デザイン工学、 生産工学*
元・和歌山高専 博士 (工学)	徳田 将敏*	電子制御、計測工学、メカトロニクス設計、 電気エネルギー、メカトロニクス、 実験計画法、数学、計測制御工学*
HNS INC. CEO Ph. D.	西畑 秀夫	工業外国語、工作機械、 生産工学概論
元・和歌山高専 博士 (工学)	福田 匡	エネルギー工学
元・和歌山高専 工学博士	藤原 昭文	材料力学特論
元・和歌山高専 工学博士	溝川 辰巳	応用物理

*は専攻科担当教員 (専攻科科目)

知能機械工学科 専門科目教育課程 (平成31年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学	4				2	2
応用物理	2			2		
工業外国語	1					1
工業力学	1		1			
振動工学	2					2
材料力学	4			2	2	
材料学	3			1	2	
熱力学	1			1		
工業熱力学	2				2	
水力学	1			1		
流体力学	2				2	
機構学	2		2			
機械設計法	4			2	2	
機械システム工学	2					2
機械工作法	3		2	1		
機械設計製図	8	2	2	2	2	
工作実習	6.5	2	3	1.5		
ロボット創作実習	1.5			1.5		
電子制御Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6			2	2	2
自動制御	2				2	
コンピュータ入門	2	2				
情報処理	3			1	2	
メカトロニクス設計	2					2
計測工学	2				2	
機械工学実験	4.5				3	1.5
卒業研究	8.5					8.5
小計	80	6	10	18	25	21
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
材料強度学	2					2
流体工学	2					2
生産管理工学	2					2
情報工学	2					2
企業実践講座	1				1	*
学外実習	1				1	**
県内インターンシップ	2				2	**
小計	12	0	0	0	4	8
開設単位数	92	6	10	18	58	
修得単位数	82以上	6	10	18	注	

*は必ず履修 **は履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17	注	

総計

開設単位数	188	34	37	36	85	
修得単位数	167以上	33	35	35	64以上	

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上 (167 - (75 + 82)) は自由に選択可能。)

4. 電気情報工学科 Department of Electrical and Computer Engineering

「課題発見解決型」の技術者養成

電気情報工学科は、日々発展する電気・電子・情報技術に対して柔軟に対応できる、自ら課題を発見し、解決する能力を備えた技術者を育成しています。基礎学力の定着と応用力の涵養を重視する教育課程は、「基礎・総合」系、「電子情報」系、「電気システム」系の各専門科目から編成されます。

「基礎・総合」系専門科目

専門基礎科目となる電気回路論や電気磁気学等を開設し、「電子情報」系の基礎科目である情報処理、電子回路等も必修科目とすることにより、専門分野に柔軟に対応できる基礎学力の養成を図っています。

「電子情報」系・「電気システム」系専門科目

主に選択科目として開設しています。「電気システム」系では認定に必要な選択科目をすべて履修すると、卒業後5年間の実務経験のみで、第2種電気主任技術者の資格を取得できます。

学外実習・海外研修旅行

企業における就業を経験する学外実習（インターンシップ）、国際社会の状況を肌で感じることのできる海外研修旅行を実施しています。

卒業生の進路

本学科卒業生は、電気・電子機器産業や情報・通信産業をはじめ、各種インフラ（エネルギー・輸送・放送）や各種プラント、金融などあらゆる分野に就職しています。生産技術のエキスパートとして、あるいは、ハードウェアおよびソフトウェアの設計・開発者として技術現場で広く活躍しています。

本校専攻科、あるいは国公立大学3年次への進学者も増えています。



バーチャルリアリティ実習



ICアンプの作成



交流回路実験



OBによる企業研究会



ロボット製作と制御プログラムの開発

和歌山高専が求める学生像

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

電気情報工学科が求める学生像

- ・電気エネルギーで私たちの社会を豊かにしたい人
- ・アプリや人工知能のしくみを学びたい人
- ・ロボットなどを思い通りに動かすための知識と技術を学びたい人



卒業研究



女子学生懇談会



マレーシア・シンガポール研修旅行

卒業生プロフィール

太田 和宏 東海旅客鉄道(株) 新幹線鉄道事業本部 電気部電力課
(電気工学科2009年3月卒)

「日本の大動脈である東海道新幹線に携わる仕事がしたい」と考えて、当社を志望しました。

当社は新幹線だけでなく、社会基盤である在来線やこれからの日本社会を大きく変える中央新幹線といった、人々の生活に密接に関わる事業を営んでいます。

これまで私は電力設備のメンテナンス業務や、設備更新における工事設計・監督業務を中心に担当してきました。それらの経験を活かし、現在は新幹線鉄道事業本部という東海道新幹線の全現業事務所を統括する部署で働いています。具体的には、「電力設備に関する保全標準の策定」、「電力設備の仕様検討」、「障害や事故の対策及び検討」などを行っており、東海道新幹線の電力設備全体に大きな影響力を持つ業務に携わっています。自身の業務が東海道新幹線の安全・安定輸送に直結しているため、常に緊張感・責任感を持って業務に臨んでいます。同時に日々大きなやりがいを感じています。

当社での業務はメーカーのようなデバイスの製造やプログラミングといった物づくりではありません。しかし、鉄道という交通インフラを運用していくことに高専で学んだ知識・技能を生かしていくことができ、物づくりとはまた一味違った「面白さ」があると感じています。



末永 裕紀 日鉄テックスエンジ(株) 電計事業本部
システムソリューション事業部 システムソリューション3部
和歌山システムグループ (電気情報工学科2008年3月卒)

鉄鋼分野を中心にプラント設備のメンテナンスやプラントの操業管理、さらに機械・電気計装・土木・建築などの工事や制御系コンピュータシステムの開発等を行う会社です。

私はシステムソリューション事業部に所属し、主に日本製鉄(株)和歌山製鉄所構内の制御コンピュータの提案・設計・製作・保守の一連の流れに関わっています。自分が構築したシステムで実際にモノが動くのを現場で見ることができたり、改善した際には工場の方々に喜んでもらえたりとやりがいを感じています。

学生時代は一つ一つの教科の重要性を感じることは少なく、モチベーションも高くありませんでした。しかし、仕事をすることで学ぶ場面に直面して、重要性を再認識しました。電気情報工学科で、エンジニアとして基礎を身に付けることができ、システムエンジニアの仕事に活かすことができています。

電気情報工学科 教員

職名	氏名	担当科目
准教授	博士(工学) 岡本 和也* OKAMOTO Kazuya	工業外国語、電子回路、マイクロコンピュータ、I C 応用回路、電気情報工学実験、応用電子回路*
教授	博士(工学) 山吹 巧一* YAMABUKI Koichi	工業外国語、電子計測、送配電工学、発変電工学、高電圧工学、電気情報工学実験、パワーエレクトロニクス特論*
	博士(工学) 山口 利幸* YAMAGUCHI Toshiyuki	工業外国語、電気回路、電気材料、回路網理論、電気情報工学実験、機能材料学*
	博士(工学) 謝 孟春* XIE Mengchun	工業外国語、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、情報科学、電気情報工学実験、情報理論*、創造プログラミング*
准教授	博士(情報工学) 岩崎 宣生* IWASAKI Nobuo	応用数学、工業外国語、情報処理、メディア情報工学、電気情報工学実験、情報工学、信号処理理論*、情報伝送工学*
	博士(工学) 岡部 弘佑* OKABE Kousuke	工業外国語、電気回路、ロボット工学基礎、自動制御、電気情報工学実験、電気工学概論、センサー工学*
	博士(工学) 竹下 慎二* TAKESHITA Shinji	工業外国語、電気回路、電気磁気学、電気情報工学実験、応用エネルギー工学*
	博士(工学) 直井 弘之* NAOI Hiroyuki	工業外国語、電子工学、電気機器、電気情報工学実験、光エレクトロニクス、物性物理*
	博士(工学) 村田 充利* MURATA Mitsutoshi	工業外国語、計算機入門、情報処理、情報通信、システム設計、オペレーティングシステム、情報セキュリティ、電気情報工学実験
	工学修士 森 徹* MORI Toru	応用数学、工業外国語、電気回路、計算機アーキテクチャ、データベース論、数値解析、コンピュータグラフィックス、電気情報工学実験

非常勤講師

所属	氏名	担当科目
(一社)関西電気管理技術者協会 中平電気管理事務所	中平 仁司	電気設計、電気法規・電気施設管理
(有)松房電機	松房 次郎	電気製図、パワーエレクトロニクス、電気工学概論

*は専攻科担当教員(専攻科科目)

電気情報工学科 専門科目教育課程 (平成31年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学	2				2	
応用物理	2			2		
工業外国語	2				2	
電気回路 I, II	5		3	2		
電気回路 III	2			2		
電気磁気学 I	2			2		
計算機入門	2	2				
情報処理 I, II	4	2	2			
情報処理 III	2		2			
アルゴリズムとデータ構造 I	2			2		
アルゴリズムとデータ構造 II	2			2		
電子回路 I, II	4			2	2	
計算機アーキテクチャ	2		2			
マイクロコンピュータ	2		2			
情報通信	2				2	
回路網理論	2				2	
電子工学	2				2	
電気材料	2				2	
電子計測	2			2		
電気機器	2			2		
自動制御	2					2
OSとセキュリティ	2				2	
電気情報工学実験	12	2	2	3	3	2
卒業研究	10					10
小計	73	6	13	21	19	14
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
システム設計	2				2	
I C 応用回路	2					2
電気磁気学 II	2				2	
電気設計	2					2
パワーエレクトロニクス	2					2
送配電工学	2				2	
発変電工学	2				2	
高電圧工学	2					2
電気法規・電気施設管理	1					1
企業実践講座	1				1	*
学外実習	1				1	**
県内インターンシップ	2				2	**
小計	21	0	0	0	12	9
開設単位数	94	6	13	21	54	
修得単位数	82以上	6	13	21	注	

*は必ず履修 **は履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17	注	

総計

開設単位数	190	34	40	39	81	
修得単位数	167以上	33	38	38	58以上	

注 一般科目75単位数以上、専門科目82単位数以上、かつ合計167単位数以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち9単位数は必須。一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位数以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

5. 生物応用化学科 Department of Applied Chemistry and Biochemistry

生物応用化学科について

生物応用化学科は、身の回りに存在する色々な物質について、化学的および生物工学的な面から理解し、それらの知識を基礎にして、地球環境保全を考慮しながら人類に役立つ物質を創造できる人材の育成を目標にしています。多くの授業や実験により、化学やバイオテクノロジーに関する深い知識、技術が学べます。低学年からくさび形に専門科目を配置し、4年生からはさらに専門的な「応用化学コース」と「生物化学コース」に分かれるのが特徴です。

生物応用化学科の学習内容

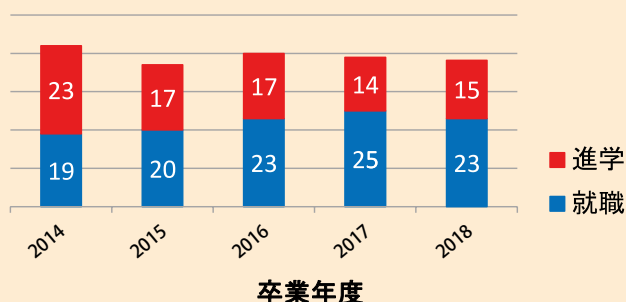
低学年（1～3年生）の科目は、国語、英語、数学、社会、体育等の一般科目および物理、情報処理等の数理工学系科目に加えて、化学系・生物系科目や実験があります。化学系・生物系科目は学年が上がるに従って増えていきます。4年生からは「応用化学コース」と「生物化学コース」に分かれ、それぞれの専門的な科目とともに、コース共通の化学・生物工学系科目、キャリアデザイン系科目、卒業研究等を配置しています。

1年	化学系科目 基礎実験	一般科目 数理工学系科目	生物系科目 基礎実験
2年			
3年			
4年	(応用化学コース) 応用化学系科目 工学実験	化学・生物工学系科目 キャリアデザイン系科目 卒業研究	(生物化学コース) 生物化学系科目 工学実験
5年			

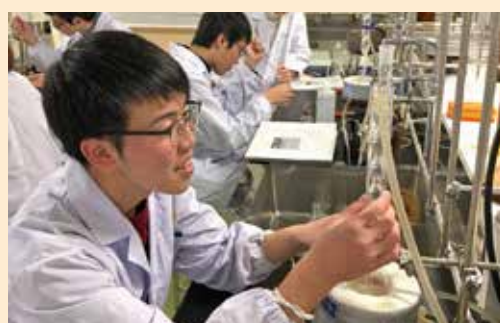
卒業生の進路

本学科（物質工学科）卒業生は、化学工業の分野はもちろん、医薬品関連産業や食品関連産業に従事し、生産現場や技術現場での技術職や研究職に就き、関連した化合物を分析・創造する“分子を操る”プロフェッショナルとして活躍しています。また、卒業生の約50%は、本校専攻科に進学したり、大学（工学・理学・農学分野など）の3年次に編入しています。

進路別人数の推移(物質工学科)



基礎実験（3年）



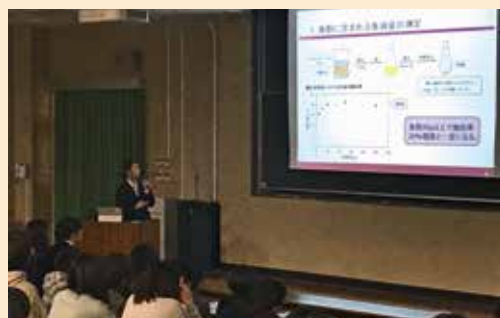
有機反応実験（3年）



メタンハイドロートの紹介（和高専フェア）



研修旅行（北海道・4年）



卒業研究発表会（5年）

自由研究や外部発表にもチャレンジ！

3年生の基礎実験では、チームを組んで自由なテーマで研究を進める機会が、学生全員に対してあります。

中には、先生と相談しながら自主的に研究を深め、外部での成果発表にチャレンジし、優れた成果を残すチームもあります。

卒業研究で研究が進展すれば、国内の学会はもちろんのこと、海外の学会で発表する学生もいます。



わかやま環境賞受賞



サイエンスキャッスル受賞

和歌山高専が求める学生像

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

生物応用化学科が求める学生像

- ・化学の力で発明したい！ 化学的に、人に役立つ物質を作ったり、新しい物質を発明したい人
- ・生物の神秘を発見したい！ 生物の力を活かして有用な物質を作ったり、未知の物質を発見したい人
- ・国際的に活躍したい！ 国際性を身につけつつ、地域の特徴や環境に配慮したものづくりをしたい人

卒業生プロフィール

川畑 彩華 アクア化学(株) 技術部 研究開発課

(物質工学科2010年3月卒)

私は現在二人の子どもを持つワーキングママとして、洗浄に関する総合メーカーの研究開発課に所属しており洗浄システムや洗浄剤の開発に携わっています。高度化するニーズに合わせた洗浄システムの開発に日々励んでおります。

結婚や出産を経験することで仕事の第一線から離れてしまうことに不安を感じることもありましたが、今もこうして会社の一員として仕事ができることに自信と誇りを持っています。働き方が多様化する昨今では、男女に関係なく積極性のある人材が求められています。高専生活で得た知識や技術を生かしたいという気持ちを持ち続け、チャンスを掴んでほしいと思います。



齋藤 辰也 セイカ(株) 生産技術本部 研究部 (物質工学科2009年3月卒)

『和歌山高専で学んだ基礎知識が活かされています』

和歌山高専では、低学年から実験器具や分析装置に触れる機会が多く、基礎的な合成・分析法またはレポート作成方法なども同時に習得することができ、和歌山高専から就職・進学するかに関係なく、将来、就職後に必要な基礎知識をしっかりと学ぶことができます。

私は、現在、生産技術本部研究部に所属しており、実験室レベルの反応技術開発や製造プラントスケールでの反応・工程を検討するスケールアップ研究を行っており、これらの業務に対して、学校で学んだことを応用・実践しています。

ぜひ、この和歌山高専で様々なことにチャレンジし、充実した学生生活を送り、将来の活躍に繋がる第一歩にしてほしいと願っています。

金野 群広 ダイキン工業(株) 淀川製作所 化学事業部 化学品製造部 第1課長

(物質工学科1999年3月卒)

フッ素樹脂原料や半導体用途に利用されるフルオロカーボンガスの製造課で、課長として化学プラントで働くオペレーターや設備の運転条件の管理をしています。

実験室でも大型プラントでも“化学の原理原則”は変わりません。プラント内部で起きていることは肉眼で見ることにはできないため、温度や圧力、組成の条件から運転状態を判断します。プラントの運転には高いレベルの化学知識が求められますが、その多くは高専で学ぶことのできるものです。

和歌山高専で学ぶ高度な知識と多くの実験、学生寮や部活動での経験は、皆様にとってかけがえのないものになると思います。社会ではバイタリティー溢れる高専生が求められています。有意義な高専ライフを送り遅く成長されることを願っております。



生物応用化学科 教員

職名	氏名	担当科目
教授	博士(工学) 米光 裕* YONEMITSU Hiroshi	生物応用化学入門、生物、応用微生物学、培養工学、物質工学特論、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、細胞工学*
	博士(工学) 野村 英作* NOMURA Eisaku	生物応用化学入門、有機化学、高分子化学、合成化学、物質工学特論、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、反応有機化学*
	博士(工学) 網島 克彦* TSUNASHIMA Katsuhiko	生物応用化学入門、無機化学、無機材料化学、物質工学特論、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、有機機能材料*
	博士(工学) 岸本 昇* KISHIMOTO Noboru	生物応用化学入門、化学工学、反応工学、物質工学特論、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、分離工学*
	博士(薬学) 土井 正光* DOI Masamitsu	生物応用化学入門、生物化学、機器分析、蛋白質工学、物質工学特論、物質工学実験、生物工学実験、生体高分子*
	博士(工学) 林 純二郎* HAYASHI Junjiro	生物応用化学入門、分析化学、物理化学、機器分析、物質工学特論、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、環境分析*
准教授	博士(工学) 奥野 祥治* OKUNO Yoshiharu	生物応用化学入門、有機化学、食品工学、物質工学特論、生物応用化学実験、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、化学
	博士(工学) 河地 貴利* KAWAJI Takatoshi	生物応用化学入門、有機化学、有機材料化学、物質工学特論、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、化学反応論*
	博士(工学) 楠部 真崇* KUSUBE Masataka	情報処理、生物応用化学入門、生物、酵素化学、物質工学特論、生物応用化学実験、物質工学実験、生物工学実験、遺伝子工学*
	博士(理学) SETIAMARGA Davin* ステイアマルガ デフィン	生物応用化学入門、生物、分子生物学、工業外国語、物質工学特論、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、総合理科
	博士(工学) 西本 真琴* NISHIMOTO Makoto	情報処理、生物応用化学入門、物理化学、生物物理化学、物質工学特論、生物応用化学実験、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験
	博士(工学) 森田 誠一* MORITA Seiichi	情報処理、生物応用化学入門、化学工学、化学工学基礎、物質工学特論、物質工学実用数学、基礎実験、物質工学実験、生物工学実験、環境化学工学*

非常勤講師

所属	氏名	担当科目
和歌山大学 准教授 博士(学術)	奥野 恒久	量子化学
元・公立高校	嶋田 佳一	応用数学
(一社)近畿化学協会、元・花王(株) 理学修士	高橋 広通	環境工学
元・大阪府立大学 工学博士	水野 一彦	物性物理化学、有機資源化学
元・公立高校	湯川 逸紀	生物、総合理科
元・本州化学工業(株)	吉本 康久	移動速度論、計測制御工学

*は専攻科担当教員(専攻科科目)

生物応用化学科 専門科目教育課程 (平成31年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学	2				2	
応用物理	4			2	2	
情報処理	3	2		1		
生物応用化学入門	2	2				
生物	2		2			
分析化学	3		1	2		
有機化学	4		1	2	1	
無機化学	4			2	2	
物理化学	4			2	2	
生命科学	2			2		
化学工学	5			1	2	2
発酵科学	2				2	
生物化学	2				2	
機器分析	2				2	
高分子化学	2				2	
反応工学	2					2
工学ゼミナール	1					1
生物応用化学実験Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	17	2	3	4	8	
卒業研究	13					13
応用化学コース必修科目						
材料化学	2				2	
合成化学	2					2
生物化学コース必修科目						
分子生物学	4				2	2
小計	80	6	7	18	29	20
選択科目						
先端工学概論	2					2
地域イノベーション工学特論	2					2
計測制御工学	2					2
移動速度論	2					2
食品工学	2					2
天然資源化学	2					2
生物資源科学	2					2
企業実践講座	1				1	*
学外実習	1				1	**
県内インターンシップ	2				2	**
小計	18	0	0	0	4	14
開設単位数	98	6	7	18	33	34
修得単位数	82以上	6	7	18		注

*は必ず履修 **は履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

開設単位数	96	29	26	18	12	15
修得単位数	75以上	28	24	17		注

総計

開設単位数	194	35	33	36	45	49
修得単位数	167以上	34	31	35		67以上

注 一般科目75単位数以上、専門科目82単位数以上、かつ合計167単位数以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位数以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

6. 環境都市工学科 Department of Civil Engineering

環境都市工学科について

環境都市工学の技術は、地震や台風などの災害に強く安全で、便利で活力があり、自然と調和した国土と地域づくりを実現する社会基盤施設の整備に貢献しています。本学科では、構造・材料、水理、地盤、交通、環境など分野毎の基礎から応用の科目や計画、防災など分野をまたがる科目を組み合わせ、人と自然が共生する国土や地域づくりを考えることのできる技術者を育成する教育を行います。



全国高専デザコン・構造デザイン部門(釧路大会)

カリキュラムについて

現代の市民生活は、環境都市工学の技術者が築いた社会基盤の上になり立っており、本学科ではまず環境都市工学の技術者が果たす役割について深く学びます。社会基盤施設の整備や運営のための計画、設計、施工管理、維持管理、補修・補強方法などにわたって広く学習するとともに、自学自習の能力を養い、またその方法を学びます。さらに、専門科目の講義の他に、体験を重視した設計製図、実験、実習、インターンシップ、卒業研究などがあります。

また、計算内容や評価・管理方法の高度化・複雑化に対応して、CADソフトなど各種ソフトウェアの利用についても学びます。



凝集沈殿作用を利用した水質浄化実験

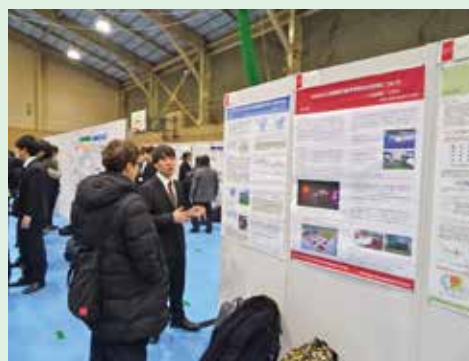
進路について

主な就職先は、橋・道路・港湾等を建設する建設業、JR西日本、JR東海、大阪ガスなどの鉄道・電力・通信・ガス会社などです。また、構造物、地盤、環境および測量などの調査設計をするコンサルタント会社にも就職しています。本学科は、国土交通省、和歌山県、地元市町村など公務員に多数の合格者を出しています。さらに本校専攻科や国公立大学等への進学も活発です。このように、各自の個性を活かした幅広い分野への進路が可能です。

なお、本学科を卒業すると、申請するだけで測量士補の資格を取得することができます。



現場見学(道路橋の点検)



高専シンポジウムでの研究発表(栃木大会)

和歌山高専が求める学生像

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

環境都市工学科が求める学生像

- ・街・道・港・橋などをつくりたい人
- ・地球環境を守りたい人
- ・災害から人の命を守りたい人



地震災害の現地調査の様子：
平成30年北海道地震



鉄筋コンクリートはりの曲げ試験：
上から荷重をかけたときの変形量の測定の様子



自作のコンクリートカヌーでの競漕の様子

卒業生プロフィール

出崎 大揮 NTTインフラネット株式会社西日本事業本部設備企画担当

(環境都市工学科2014年3月卒)

私は、2014年に環境都市工学科を卒業し、NTTインフラネット株式会社に就職しました。

電話やインターネットは、どのように繋がっているか皆さんご存じですか？

実は、NTTグループがこれまで作り上げてきた光ファイバーケーブルを介して皆さんの元に通信サービスが届いております。

光ファイバーケーブルは、道路下に埋設されている地下設備（通信設備用トンネル、マンホール、管路等）に収容されております。

これらの地下設備の維持管理に関する計画、渉外、エンジニアリング、保全を一元的に実施するのがNTTインフラネットでありその会社の一員として日々計画業務に取り組んでいます。

現在は、熊本地震の復興支援業務に携わっており、地震で被災したNTT設備の補修工事計画の策定、工事化等を行っています。補修工事計画では自治体の復興に合わせ、設備品質の維持、コスト低減および安全を考慮した設計を行っています。

熊本復興を推進する上で、他ライフライン企業と協力しながらより良い街づくりをしていく事にやりがいを感じております。

これからも「安心・安全・快適」な街づくりを通じて、地域社会に貢献していきます。



野尻 鈴菜 御坊市都市建設課（環境都市工学科2016年3月卒）

私は2016年に環境都市工学科を卒業し、現在御坊市役所に勤務しています。所属は都市建設課で、主に都市計画関係の仕事に携わらせていただいております。

一昨年は漁港の施設の修繕工事の監督をさせていただいたのですが、高専で学んだコンクリートや、工事の施工管理に関する知識などの専門的な知識がとても役に立ちました。

市役所には高専の先輩がたくさんいらっしゃいます。高専出身の先輩後輩ということもあり、みなさんとても優しく、また様々なことを教えてくださいます。

専門的な知識を学べるのはもちろんですが、縦の繋がりが密接なのも高専の魅力の一つだと思います。高専で学んだことを活かし、よりいっそう仕事に励んでいきたいです。

環境都市工学科 教員

職名	氏名	担当科目
教授	博士(工学) 小池 信昭 KOIKE Nobuaki	環境都市工学通論、水理学、水工水理学、基礎実験、水圏工学*
	博士(工学) 辻原 治 TSUJIHARA Osamu	防災学概論、構造力学、総合演習、振動工学、耐震工学、建設設計工学*
	博士(工学) 齋巻 峰夫 TSURUMAKI Mifuo	環境都市工学通論、情報処理、基礎製図、設計製図、総合演習、応用情報処理演習、都市環境工学、環境計画学、環境アセスメント*
	博士(工学) 三岩 敬孝 MITSUWA Yoshitaka	建設材料学、コンクリート構造学、設計製図、総合演習、社会基盤メンテナンス工学、基礎実験、応用材料工学*
准教授	博士(工学) 伊勢 昇 ISE Noboru	応用数学、都市地域計画、計画数理、交通システム、基礎実験、数理統計学*、社会基盤計画学*
	博士(工学) 林 和幸 HAYASHI Kazuyuki	土質力学、施工管理学、設計製図、測量学実習、土質力学特論、基礎実験、応用地盤工学*
	博士(工学) 山田 宰 YAMADA Osamu	構造力学、設計製図、構造力学演習、総合演習、鋼構造学、構造力学特論、基礎実験、複合構造工学*
講師	博士(工学) 青木 仁孝 AOKI Masataka	測量学、測量学実習、水環境工学、総合演習、上下水道工学、基礎実験、地域環境工学*
助教	博士(工学) 平野 廣佑 HIRANO Hirotsuke	環境都市工学通論、測量学、測量学実習、暮らしと環境問題、総合演習、環境地盤工学、工業外国語、環境マネジメント*
	博士(工学) 横田 恭平 YOKOTA Kyohei	コンピュータリテラシー、応用情報処理演習、測量学実習、設計製図、基礎情報処理、コンピュータ製図、資源循環システム学

非常勤講師

所属	氏名	担当科目
パシフィックコンサルタンツ(株)	伊崎 憲昭	景観工学
(株)オーシーティー	大平 智巳	設計製図
国土交通省近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	小澤 盛生	道路工学
元・国土交通省	桐野 利男	機械工学概論
(有)S o t o	外園 勝	景観工学
建築設計事務所 LOCAL STUDIO	田中 隆介	建築学概論
国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	堤 英彰	道路工学
元・和歌山高専 博士(工学)	中本 純次	コンクリート構造学、 コンクリート構造学特論
(株)エム・エー・エス	山本 昌也	地形情報処理学

*は専攻科担当教員(専攻科科目)

環境都市工学科 専門科目教育課程 (平成31年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学 I, II	4				4	
応用物理	2			2		
環境都市工学通論	1	1				
コンピュータリテラシー	1	1				
防災学概論	1	1				
基礎情報処理演習 I, II	3		1	2		
応用情報処理演習	2				2	
構造力学 I, II, III, IV	7		1	2	2	2
橋梁工学	2				2	
建設材料学	1		1			
コンクリート構造学 I, II	2			2		
土質力学 I, II	3			1	2	
水理学 I, II	4			2	2	
河川工学	2				2	
都市地域計画	1				1	
測量学 I, II, III	3		1	1	1	
環境工学基礎	1		1			
環境工学 I, II	3			1	2	
環境工学 III	2				2	
施工管理学	2				2	
基礎製図 I, II	2	1	1			
設計製図 I, II, III	5			1	2	2
基礎実験 I, II	4			2	2	
測量学実習 I, II	4		2	2		
環境都市工学演習	2				2	
卒業研究	10					10
小計	74	4	8	18	30	14
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
振動工学	2					2
耐震工学	2					2
社会基盤メンテナンス工学	2					2
地盤工学	2					2
海岸工学	2					2
計画数理	1					1
交通システム	1					1
環境工学 IV	1					1
企業実践講座	1				1	*
学外実習	1				1	**
県内インターンシップ	2				2	**
小計	17	0	0	0	4	13
開設単位数	91	4	8	18	61	
修得単位数	82以上	4	8	18	注	

*は必ず履修 **は履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17	注	

総計

開設単位数	187	32	35	36	88
修得単位数	167以上	31	33	35	68以上

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。(専門科目の選択科目のうち8単位は必須。一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

7. 総合教育科 Faculty of Liberal Arts

総合教育科とは

〈総合教育科〉は4学科共通の基礎教育科目である「一般科目」を担当する部門です。和歌山高専の学生は専門科目のほかに、国語、社会、数学、理科、外国語、体育、芸術などの一般科目も学びます。高度な専門教育をより確実により深く学ぶための準備段階として、言語、論理、感性、社会、健康をめぐる、総合教育科の授業カリキュラムが編成されています。

総合教育科 学習の心得

1 「論理的思考を楽しむ」

自由な視野のもとで事物の本質を論理的に考え、ときには前提となる基盤さえも柔軟に更新するほどの論理的思考を楽しむ。

2 「驚きとともに学ぶ」

共感をもって人と自然から謙虚に学び、驚きとともに問題を発見する行為を通じて、学ぼうとする自己を新鮮に保つ。

3 「他者を知って助けあう」

心身を健やかに保ち、折り目正しく、物怖じせず、礼を重んじることで、ともに助けあえる協力関係を作る。

数学

工学では、注目している現象を数式で表現し、数学で精密に調べることにより、その現象のしくみや振る舞いを説明します。このため、技術者には数式を正確に扱う技術だけでなく、物事を数学的に深く理解する力が求められます。

高専では、このような数学の利用を想定して、学習の内容や順番が決められています。実際の授業は、学生が計算力と理解力を身につけ、これらを実践的な専門の場面で十分に発揮できるように、講義と演習を取り混ぜながら進めます。



英語

技術者に要求される実践的コミュニケーションに対応するため、「英語で積極的かつ能率的に情報を受信・発信できる能力」を養います。ネイティブスピーカーの常勤教員による授業もあり、質の高い語学学習が行われます。TOEICや英検などの外部試験の受験も奨励されます。また「高専英語プレゼンテーションコンテスト」には7年連続で全国大会に出場し、5度入賞しています。



理科

理科は、自然界の成り立ちや、自然現象を貫く法則について学ぶ科目です。理科の学習を通して、工業技術の基礎を学習します。さらに、工業技術が自然界や人間世界に対してどのような関わりを持ち、私たちがどのように対応したらよいのか、多面的に考える能力を養います。高専における理科は、専門工学の基礎となる物理・化学の学習が中心ですが、地球環境に対する理解を深めるため、生物・地球科学についても学習します。



国語

技術者にとって欠くことのできない、生産的な言語コミュニケーション能力の獲得を目的として、情報の受信から発信に至る日本語能力を、論理的思考・言語的感性の両面にわたって育成します。



社会

社会の歴史・現在を様々な角度から考察しながら、我々がどこから来て今どこにいるのかを考えます。そのことを通して、社会を分析・考察する能力を高め、科学技術が現代社会にとって持つ意味を多角的に捉えることができますようにします。



体育・芸術

心と身体の健康は、勉学の基本的な条件です。保健・体育、芸術を通じて、心身の健康を培い、論理的思考はもちろんのこと、社会人として、あるいは人間として必要な、豊かな感性と表現力を養います。



第2外国語

語学を通じて、教養豊かな国際人を育成するため、第4・5学年では、中国語、ドイツ語、フランス語の講座を開設しています。



総合教育科教員による著作

論理と感性

論理的思考

人間的感性

心身の健康

社会性と倫理

環境と共生

国際理解

地域への責任

問題の発見・解決

コミュニケーション

プレゼンテーション

専門的素養

自然科学への理解

理科・数学の基礎

総合教育科 教員

職名	氏名	担当科目
教授	文学修士 吉田 芳弘 YOSHIDA Yoshihiro	英語総合、英文法、地域と文化、第2外国語A（ドイツ語）
	博士（文学） 赤崎 雄一* AKASAKI Yuichi	世界史、現代の世界、政治・経済、地域と文化、現代アジア論*
	博士（理学） 青山 敏生 AOYAMA Yoshio	物理
	博士（理学） 秋山 聡 AKIYAMA Satoru	数学
	博士（工学） 岩本 仁志 IWAMOTO Hitoshi	化学
	修士（学術） 桑原 伸弘 KUWABARA Nobuhiro	保健・体育
	修士（法学） 後藤多栄子* GOTOH Taeko	英語総合、英会話、英語A、知的財産権、実用英会話*、技術者倫理*
	文学修士 平山 規義 HIRAYAMA Noriyoshi	英語、英語総合、英語A、第2外国語B（フランス語）
	教育学修士 宮本 克之* MIYAMOTO Katsuyuki	国語、ビジネスコミュニケーション*
	文学修士 和田 茂俊* WADA Shigetoshi	国語、ビジネスコミュニケーション*
准教授	修士（学術） 芥河 晋 AKUTAGAWA Susumu	保健・体育
	理学修士 右代谷 昇 USHIROYA Noboru	数学
	博士（理学） 孝森 洋介* TAKAMORI Yousuke	物理、応用物理、量子力学*
	M. A. (M. Eng.) David MARSH アビット マーシュ	長期海外出張
	体育学士 中出 明人 NAKADE Akito	保健・体育
	博士（理学） 濱田 俊彦* HAMADA Toshihiko	数学、応用数学、数理工学*
	博士（工学） 平岡 和幸* HIRAOKA Kazuyuki	数学、線形代数*
	文学修士 森岡 隆* MORIOKA Takashi	英語総合、地域と文化、英語A、時事英語*
助教	博士（理学） 児玉 恵理 KODAMA Eri	日本史、環境と社会、倫理、地域と文化
	博士（人間科学） 原 めぐみ HARA Megumi	英語総合、英語表現、英文法、英語B

非常勤講師

所属	氏名	担当科目
元・江蘇石油化工学院（中華人民共和国）	今北 純子	第2外国語C（中国語）、日本語
元・公立高校	上田 芳裕	数学
元・公立高校	大野 規之	政治・経済、日本経済論
修士（文学）	小笠原愛子	国語
元・公立高校	小田 憲	政治・経済、日本経済論
画家	西垣 至剛	芸術
元・公立高校	小出 敏弘	総合理科
Effort塾経営	小谷美代子	英語
印南町教育旅行誘致協議会「いなみかえるの宿」会長	庄田登紀美	日本事情
元・公立高校	戸根 恒夫	化学
博士（文学）	中山 良子	倫理
（有）WHY代表取締役	西口 猛	数学
元・公立高校	濱野 公二	英語総合
奈良女子大学博士研究員 博士（文学）	的場 美帆	国語
元・和歌山高専 博士（英語学）	森川 寿*	英語表現、英語、テクニカルライティング*
和歌山大学大学院生	李 鵬	第2外国語C（中国語）

*は専攻科担当教員（専攻科科目）

一般科目教育課程

（平成31年度以降入学）

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
国語	8	3	3	2		
思考と表現	1			1		
世界史	2	2				
日本史	2		2			
環境と社会	1	1				
現代の世界	1		1			
政治・経済	2			2		
倫理	1			1		
日本経済論	1				1	
数学Ⅰa	3	3				
数学Ⅰβ	3	3				
数学Ⅱa	4		4			
数学Ⅱβ	2		2			
数学Ⅲa	3			3		
数学Ⅲβ	2			2		
物理	5	2	3			
保健・体育	10	3	2	2	2	1
芸術	1	1				
英語	2				2	
英語総合	10	4	4	2		
英語表現	2	2				
英会話	1		1			
英文法	2			2		
知能機械工学科・電気情報工学科・環境都市工学科 必修科目						
化学Ⅰ	3	3				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1		1			
生物応用化学科 必修科目						
化学Ⅰ	3	3				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1	1				
必修科目小計						
知能機械工学科 電気情報工学科 環境都市工学科	75	27	25	17	5	1
生物応用化学科		28	24			
選択科目						
わかやま学	1		1			
地域と文化 A	1					1
地域と文化 B	1					1
地域と文化 C	1					1
第2外国語 A I	2				2	
第2外国語 B I	2				2	
第2外国語 C I	2				2	
英語 A	2					2
英語 B	2					2
第2外国語 A II	2					2
第2外国語 B II	2					2
第2外国語 C II	2					2
海外異文化交流(留学)	1	1	1	1	1	1
選択科目小計						
	21	1	2	1	7	14
開設単位数						
知能機械工学科 電気情報工学科 環境都市工学科	96	28	27	18	12	15
生物応用化学科		29	26			
修得単位数						
知能機械工学科 電気情報工学科 環境都市工学科	75以上	27	25	17		注
生物応用化学科		28	24			
特別活動						
	単位時間数	1年	2年	3年		
	90	30	30	30		

*必ず履修 **単位取得の上限は1単位

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。

8. 専攻科 Advanced Engineering Faculty

専攻科は、高専本科卒業生およびこれと同等の資格を有する社会人等を対象として、さらに深く、幅広く教育研究を行う2年制の課程です。

本校の専攻科では、

- ①持続可能な社会の形成に活かせる創造力
- ②多面的に問題を発見し、解決する能力
- ③豊かな人間性と国際性

を備えた人材の育成を目的としています。また、本科の4、5学年と合わせて「地域環境デザイン工学」教育プログラムを設定し、国際的に通用する技術者の育成を目指しています。本教育プログラムは日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けています。

本校の専攻科には、「メカトロニクス工学専攻」（定員8名）と「エコシステム工学専攻」（定員8名）の2専攻が設置されています。

また、本校の専攻科は（独）大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科の認定を受けているので、修了をもって大学の工学部卒業生と同じ学士（工学）の学位を取得できます。専攻科修了後は、企業等への就職や大学院への進学（推薦入試制度あり）ができます。

メカトロニクス工学専攻

高等専門学校等の智能機械工学系および電気情報工学系学科において修得した知識と技術の上に、さらに専門性の高い知識と技術が修得できます。智能機械と電気情報の両分野が融合したメカトロニクス工学専攻では、計測制御、材料、加工・設計、信号処理・情報伝送等の知識と技術を学びます。これにより、企業等で製品や製造プロセスの設計・開発を行うことのできる技術者、または大学院でさらに高度な知識と技術を修得できる素養を持つ人材を養成します。

エコシステム工学専攻

高等専門学校等の物質工学系および環境都市工学系学科において修得した知識と技術を基盤に、両専門分野を総合するとともに、より専門性の高い教育を行います。また、環境問題を幅広く考慮することを重視した指導を行います。これにより、幅広い視点に立ち、人類に役立つ物質を化学やバイオ技術を駆使して創造できる能力、あるいは都市環境を形成する土木構造物や環境システムの設計・開発等を行うことができる能力、さらには、地球環境保全にも十分に対応できる能力等を備えた先端技術者を育成することに努めています。



特別研究発表会



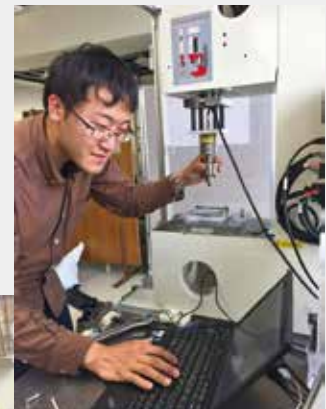
工学特別実験：創造デザイン



工学特別実験



特別研究：ドローンの制御に関する研究

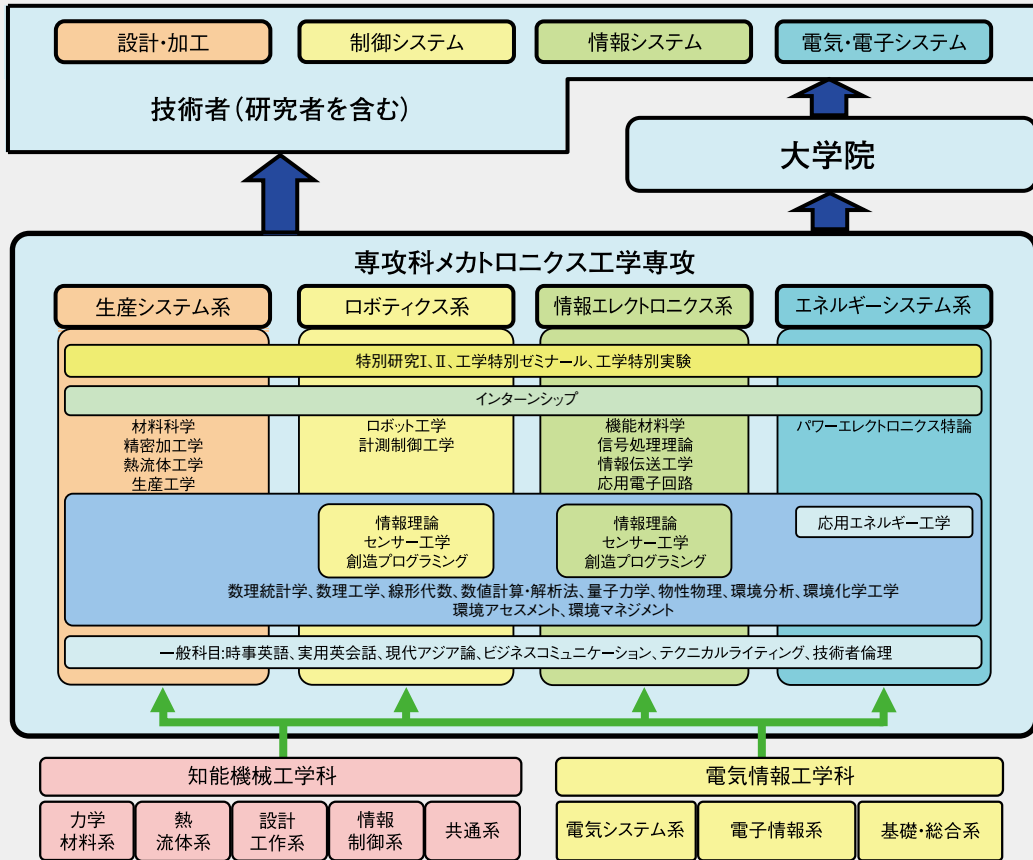


特別研究…新機械材料に関する研究

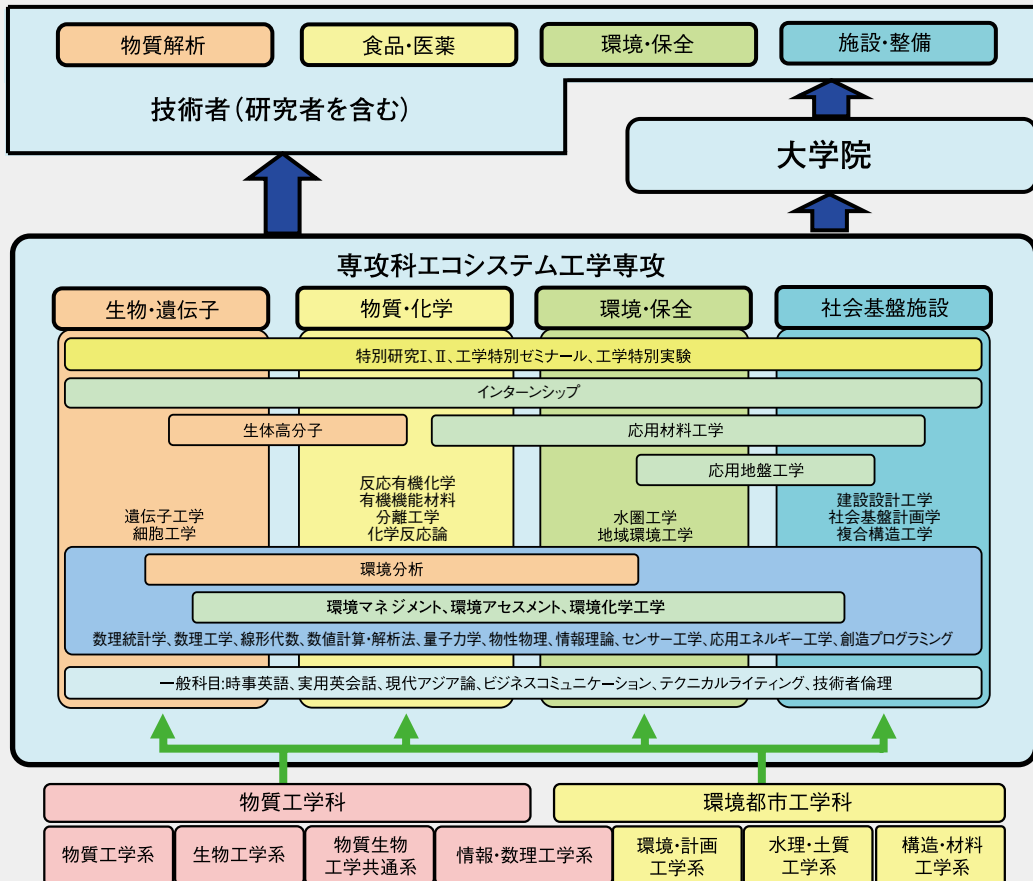


特別研究：太陽電池の作製

□ メカトロニクス工学専攻



□ エコシステム工学専攻



メカトロニクス工学専攻 教育課程

平成30年度以降入学

授 業 科 目	単位数	1年		2年		
		前期	後期	前期	後期	
一 般 科 目	○時事英語	2	2			
	○実用英会話	2		2		
	現代アジア論	2			2	
	ビジネスコミュニケーション	2	2			
	テクニカルライティング	2		2		
	○技術者倫理	2			2	
一般科目 開設単位数	12	4	4	2	2	
一般科目 修得単位		6単位以上				
専 門 共 通 科 目	数理統計学	2			2	
	数理工学	2	2			
	線形代数	2	2			
	数値計算・解析法	2		2		
	量子力学	2	2			
	物性物理	2			2	
	情報理論	2		2		
	センサー工学	2	2			
	応用エネルギー工学	2		2		
	環境分析	2		2		
	環境化学工学	2	2			
	環境アセスメント	2		2		
	創造プログラミング	2			2	
環境マネジメント	2			2		
専門共通科目 開設単位数	28	10	10	6	2	
専門共通科目 修得単位		12単位以上				
専 門 科 目	○工学特別ゼミナール	4	2		2	
	○工学特別実験	4	2	2		
	○特別研究Ⅰ	4	2	2		
	○特別研究Ⅱ	10			4	6
	計測制御工学	2		2		
	パワーエレクトロニクス特論	2		2		
	ロボット工学	2			2	
	材料科学	2	2			
	機能材料科学	2			2	
	精密加工学	2		2		
	熱流体工学	2			2	
	生産工学	2		2		
	信号処理理論	2		2		
	応用電子回路	2			2	
	情報伝送工学	2			2	
	インターンシップ	2	2			
	専門専攻科目 開設単位数	46	10	14	16	6
専門専攻科目 修得単位		36単位以上				
一般・専門科目 開設単位数 合計	86	24	28	24	10	
一般・専門科目 修得単位		62単位以上				

エコシステム工学専攻 教育課程

平成30年度以降入学

授 業 科 目	単位数	1年		2年		
		前期	後期	前期	後期	
一 般 科 目	○時事英語	2	2			
	○実用英会話	2		2		
	現代アジア論	2			2	
	ビジネスコミュニケーション	2	2			
	テクニカルライティング	2		2		
	○技術者倫理	2			2	
一般科目 開設単位数	12	4	4	2	2	
一般科目 修得単位		6単位以上				
専 門 共 通 科 目	数理統計学	2			2	
	数理工学	2	2			
	線形代数	2	2			
	数値計算・解析法	2		2		
	量子力学	2	2			
	物性物理	2			2	
	情報理論	2		2		
	センサー工学	2	2			
	応用エネルギー工学	2		2		
	環境分析	2		2		
	環境化学工学	2	2			
	環境アセスメント	2		2		
	創造プログラミング	2			2	
環境マネジメント	2			2		
専門共通科目 開設単位数	28	10	10	6	2	
専門共通科目 修得単位		12単位以上				
専 門 科 目	○工学特別ゼミナール	4	2		2	
	○工学特別実験	4	2	2		
	○特別研究Ⅰ	4	2	2		
	○特別研究Ⅱ	10			4	6
	反応有機化学	2		2		
	化学反応論	2			2	
	有機機能材料	2			2	
	遺伝子工学	2	2			
	細胞工学	2		2		
	分離工学	2		2		
	生体高分子	2			2	
	応用材料工学	2	2			
	応用地盤工学	2		2		
	建設設計工学	2			2	
	社会基盤計画学	2			2	
	水圏工学	2		2		
	地域環境工学	2			2	
複合構造工学	2			2		
インターンシップ	2	2				
専門専攻科目 開設単位数	52	12	14	20	6	
専門専攻科目 修得単位		36単位以上				
一般・専門科目 開設単位数 合計	92	26	28	28	10	
一般・専門科目 修得単位		62単位以上				

[注] ○印は必修科目

インターンシップ2単位は1年次または2年次で履修できる。開設単位数の欄では便宜上1年前期に集計してある。

工学特別ゼミナールは、通年履修科目であるが、開設単位数の欄では、便宜上、1、2年次共、前期に集計してある。

選択科目は、一般科目と専門科目から34単位以上修得すること。ただし、専門共通科目から12単位以上、専門専攻科目から14単位以上修得すること。

9. 研究活動・地域との連携

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンターは、専門領域の枠を越えた学際的組織の下で、地域産業界の動向や要請を十分に組み入れた技術者教育や共同研究等を推進し、地域との連携を図ることを目的として、1995（平成7）年に開設されました。

主に本センターでは、次の活動を行っています。

- (1) 産学共同研究の推進および地域産業への技術協力
- (2) 公開講座・出前授業等を通じた社会貢献
- (3) 共同研究・受託研究の推進
- (4) 学生に対する産業技術教育の充実

地域との連携を目的として1997（平成9）年には、本校と御坊市域の企業等で構成される「和歌山工業高等専門学校産官学技術交流会」が、1999（平成11）年には田辺市域の企業を主要会員とする「南紀熊野産官学技術交流会」が発足しました。

また、2008（平成20）年には、地域経済の活性化を目的として（株）紀陽銀行と包括的な連携協定を締結し、2011（平成23）年3月には、近畿7高専と（財）大阪科学技術センターとが産学連携事業実施に係る覚書を締結するとともに、同年12月に（独）産業技術総合研究所関西センターと連携・協力に係る覚書を締結し、2016（平成28）年には地元企業からの技術相談等への迅速な対応と事務の簡略化を目的に、（公財）わかやま産業振興財団との連携協定を締結しました。

さらに、平成29年度には、鳥羽商船高等専門学校と連携協定を締結し、「海」をキーワードに教育・研究で連携を深めています。

地域産業との技術交流

地域共同テクノセンターでは、新材料、情報計測制御、環境機能そしてエネルギー応用技術などの分野で地域産業界からの要請に即応できる体制を整えています。

また、「研究協力、技術協力や技術相談への対応」そして「地域産業界との交流促進」を重要な活動として位置づけています。

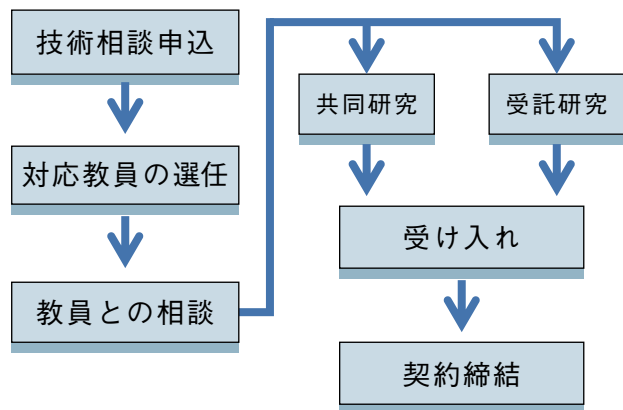
気軽に相談に来て頂ける体制を整備し、本校と地域産業界、双方にとって有意義な研究・開発に発展して



和高専次世代テクノサロン



和高専産官学技術交流会



いくことを目指しています。そのためにも技術交流会、技術懇話会、教育研究発表会、テクノサロン、技術講演会等々を外部と連携しながら積極的に開催しています。また、地域の防災に関する取組を通じて地域の防災力の強化も目指していきます。



技術懇話会・教育研究奨励研究発表会

さらに、平成27年度に本校は地（知）の拠点（COC）校として文部科学省の認定を受け、学生に対する地方創生教育を充実させています。



本校学生による公開講座の様子

また、本校では多くの装置・機器を準備し、様々な研究、技術に対応できますので、ご活用ください（写真は一例）。



高精度液体・気体解析装置

本校に設置している研究機器については、本校HP地域共同テクノセンターで随時公開していますのでぜひご覧ください。
http://www.wakayama-nct.ac.jp/shisetsu/technocenter/machinely_t.html

科学研究費補助金

研究種目	2018年度（実績）		2019年度（2019年5月現在）	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
若手研究	1	1,430,000	2	4,290,000
基盤研究（C）	8	13,650,000	10	10,660,000
挑戦的研究	0	0	（未確定）	
研究活動スタート支援	0	0	（未確定）	
奨励研究	0	0	1	460,000
合計	9	15,080,000	13	15,410,000
他機関申請分担金	9	5,395,000	（未確定）	

外部資金の導入（2018年度・実績）

区分	件数	金額（円）
寄附金	43	13,797,000
受託研究	4	3,170,000
受託事業	1	358,000
民間等との共同研究	8	3,386,000
補助金（科研除く）	1	2,300,000
その他助成金等	11	6,710,000
合計	68	29,721,000

公開講座（2019年度・計画）

講座名	開催日	開催場所	受講対象者	募集人数（最大人数）
段ボールアート	6月	本校	小学生	25名
きのくに野外博物館 磯の生物観察会（県立自然博物館と共催）	6月2日(日)	御坊市名田海岸	小学生～一般	40名
Biodiversity and Chemistry in KOSEN-化学・生物の不思議を調べてみよう! -生物・化学の力を使って犯人を捕まえよう!	7月20日(土)	和歌山ビッグ愛	小学高学年～中2	12名
Biodiversity and Chemistry in KOSEN-化学・生物の不思議を調べてみよう! -生き物の肉片からDNAを取り出してみよう!	7月20日(土)	本校	中3	10名
メタルゴム鉄砲を作ろう	7月26日(金)	本校	小5～中3	15名
マイクラでプログラミングをおぼえよう	8月4日(日)	本校	小5～中3	10名
おもしろ科学の実験工作教室【和歌山会場】	8月22日(木) 8月23日(金)	和歌山県立図書館	小4～中3	30名
おもしろ科学の実験工作教室【田辺会場】	8月20日(火)	田辺工業高等学校	小4～中3	30名
和歌山高専サイエンス&インダストリーウィーク ①プログラミング入門	8月19日(月)	本校	小5～中3	15名
和歌山高専サイエンス&インダストリーウィーク ②「ペーパークラフト」でまちづくり	8月19日(月)	本校	小5～中3	15名
和歌山高専サイエンス&インダストリーウィーク ③木材の3Dパズル	8月20日(火)	本校	小5～中3	15名
和歌山高専サイエンス&インダストリーウィーク ④目で見る科学～感光性基板と分子模型～	8月20日(火)	本校	小5～中3	15名
和歌山高専サイエンス&インダストリーウィーク ⑤電子回路工作～電子ホタルを作ろう～	8月21日(水)	本校	小5～中3	15名
Biodiversity and Chemistry in KOSEN-化学・生物の不思議を調べてみよう! -生き物がいる環境を生き物がもつ色素から分析しよう!	8月22日(木)	本校	中1～中3	12名
避難所の運営をしてみよう	8月下旬	本校	小5～中3	10名
DIG（Disaster Imagination Game）を体験してみよう	8月下旬	本校	中1～中3	12名

出前授業（2019年度・26テーマの内の主なテーマ）

講座名	受講対象者	対応可能時期	対応可能人数
ペットボトル掃除機を作ろう	小学生（高学年）	随時	10
6足歩行ロボットの製作と対戦競技	小学生	随時	要相談
ロボット体験学習	小学生～中学生	随時	要相談
アルギン酸ゲルのカラービーズを作ろう	小学生	随時	要相談
トンボ玉教室	小学生～中学生	随時	10
セメントで色あざやか文鎮作り	小学生～中学生	随時	要相談
地球からのメッセージ ～地震について考えよう～	小学生（高学年）	随時	15
氷が燃える!? メタンハイドレートを観察してみよう	小学生～中学生	随時	要相談
「文学の研究」/「物理の研究」/「数理工学の研究」/ 「体育・スポーツ科学の研究」とはどのようなことをするのか	中学生～高校生	随時	要相談
ロープウェイ工作	小学生(高学年)～中学生	随時	15

※本年度の計画については随時本校HP (<http://www.wakayama-nct.ac.jp/>) を更新しますのでご覧ください。

10. メディアセンター

図書館

図書館では、専門書、学習参考書、一般教養書などの諸図書や新聞・雑誌など、およびAV教材としてビデオテープ・CD・DVDなどを備え、学生および教職員に種々の学術情報を提供しています。

また、地域に開かれた図書館としても情報サービスに努めています。

- 1994年 貸出・返却、発注・受入、蔵書点検等の業務を電算化し、パーソナルコンピュータによる検索も可能となる。
- 2000年 地域に開かれた図書館として、図書館施設を学外に開放する。
- 2002年 所蔵図書目録をWeb上に公開し、学内外で検索が可能となる。
- 2003年 「和歌山地域コンソーシアム図書館」検索システムに参加し、蔵書情報の提供と県内全域への貸出・配送サービスを開始する。
- 2012年 長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム（E-Conan）に参加する。

開館時間

平日 午前9時～午後9時
 （試験期間中 午前9時～午後9時50分）
 土曜 午前10時～午後4時

蔵書 2019年4月1日現在

単行書		計
分類		
0 総記		4,052冊
1 哲学		3,990
2 歴史		7,743
3 社会科学		7,961
4 自然科学		19,607
5 技術		21,285
6 産業		1,720
7 芸術		3,929
8 言語		5,732
9 文学		14,445
計		90,464冊
雑誌		429種



情報処理教育センター

情報処理教育センターは、教育用パーソナルコンピュータ140台と教育用サーバー3台を設置し、本校の教育・研究・地域連携活動を情報という側面から支えています。

教育用パソコンは、コンピュータ利用の基礎、IT応用ソフトウェアの利用および各種のプログラミング言語の学習に活用されます。

また、高速ギガビットネットワーク（LAN）により、センター演習室や各学科研究室から学外へ高速回線でインターネットにアクセスできます。



第3演習室

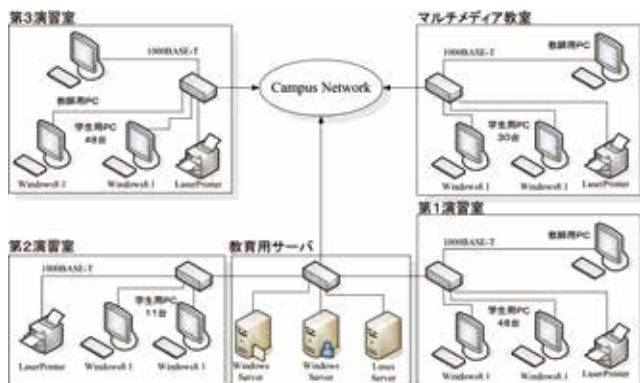
電子計算機室機器概要

- 演習室(教育用PC……第1演習室49台
 第2演習室11台 第3演習室49台)
- 専攻科棟マルチメディア教室 (教育用PC……31台)
- 高速ギガビットネットワーク (LAN) 機器

センター利用時間

平日 午前8時30分～午後5時

※2019年度にメディアセンターの全面改修があるため、年度の途中から工事等に伴って、利用時間や利用方法の変更があります。



11. 進路

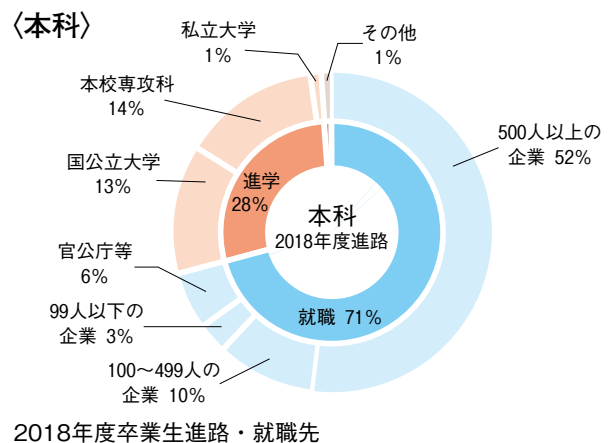
〈本科進路〉

5年間の一貫教育により技術者を育成する本校は、景気に左右されることなく、毎年100パーセントの就職率を保ち、ほぼ全員が希望の大手企業等へ就職しています。また進学を希望する卒業生はそのほとんどが国公立大学への編入学や、本校専攻科へ進学をしています。

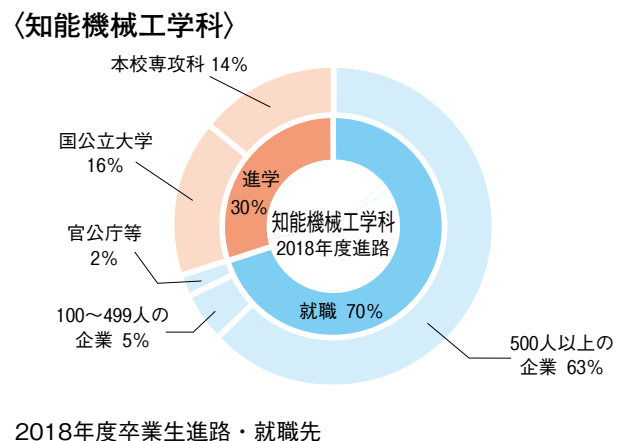
卒業生の進路は、就職71パーセント、国公立大学への進学13パーセント、本校専攻科への進学14パーセントでした。

就職

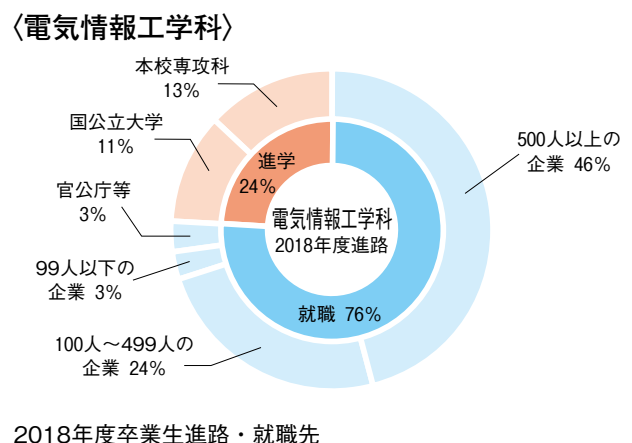
本科		年度	2014	2015	2016	2017	2018
卒業生数			160	151	158	146	157
就職者数			91	99	105	104	111
地域別	京浜地区		32	43	39	35	42
	京阪神地区		37	29	40	31	46
	和歌山県		14	17	14	16	13
	その他		8	10	12	22	10
企業規模	500人以上		63	74	78	68	82
	100人～499人		18	12	13	23	16
	99人以下		6	6	7	7	4
	官公庁等		4	7	7	6	9



知能機械工学科		年度	2014	2015	2016	2017	2018
卒業生数			44	35	44	38	44
就職者数			32	25	30	32	31
地域別	京浜地区		6	10	16	13	9
	京阪神地区		15	9	10	9	14
	和歌山県		6	1	2	4	1
	その他		5	5	2	6	7
企業規模	500人以上		23	23	24	25	28
	100人～499人		7	1	5	5	2
	99人以下		2	1		2	
	官公庁等				1		1

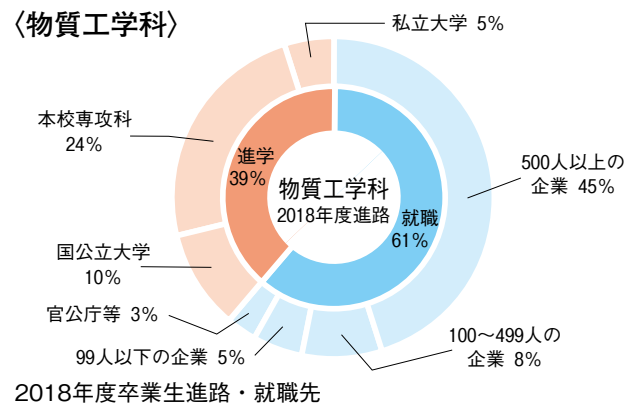


電気情報工学科		年度	2014	2015	2016	2017	2018
卒業生数			35	42	37	37	37
就職者数			13	26	22	23	28
地域別	京浜地区		8	16	7	7	12
	京阪神地区		4	5	10	7	11
	和歌山県			3	2	2	4
	その他		1	2	3	7	1
企業規模	500人以上		11	22	20	18	17
	100人～499人		2	1		5	9
	99人以下			3	2		1
	官公庁等						1



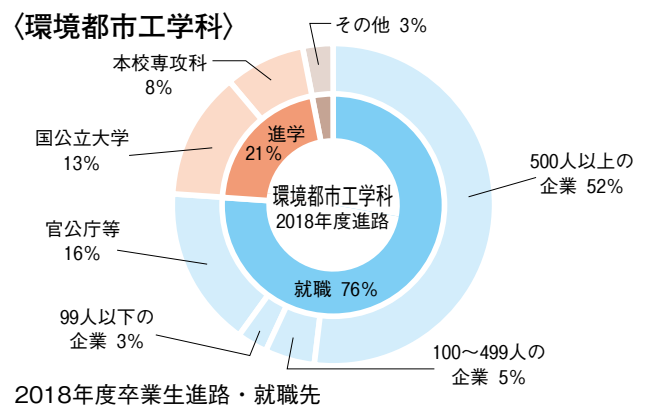
物質工学科		年度	2014	2015	2016	2017	2018
卒業生数			42	37	40	39	38
就職者数			19	20	23	25	23
地域別	京浜地区		7	8	7	8	12
	京阪神地区		8	6	11	7	9
	和歌山県		4	6	3	5	1
	その他				2	5	1
企業規模	500人以上		10	11	17	13	17
	100人～499人		5	7	4	8	3
	99人以下		3	2	2	4	2
	官公庁等		1				1

〈物質工学科〉



環境都市工学科		年度	2014	2015	2016	2017	2018
卒業生数			39	37	37	32	38
就職者数			27	28	30	24	29
地域別	京浜地区		11	9	9	7	9
	京阪神地区		10	9	9	8	12
	和歌山県		4	7	7	5	7
	その他		2	3	5	4	1
企業規模	500人以上		19	18	17	12	20
	100人～499人		4	3	4	5	2
	99人以下		1		3	1	1
	官公庁等		3	7	6	6	6

〈環境都市工学科〉



進路指導説明会



産業勉強会

大学等編入学

大学等	年度	2016	2017	2018
和歌山高専専攻科		18	24	23
豊橋技術科学大学		9	3	8
長岡技術科学大学		4	5	1
徳島大学			1	3
東京農工大学		1	1	1
福井大学		3		
岐阜大学		2		1
京都工芸繊維大学		2		1
和歌山大学		1	1	1
電気通信大学		1		1
金沢大学		1	1	
大阪大学		1	1	
神戸大学		1	1	
岡山大学			2	
広島大学		2		
北海道大学		1		
北見工業大学				1
信州大学				1
三重大学			1	
高知大学		1		
九州大学				1
九州工業大学			1	
佐賀大学		1		
麗澤大学		1		
佛教大学				1
徳島文理大学				1
計		50	42	45

2018年度(平成30年度)本科卒業生進路先一覧

2019年5月1日現在

就職先	知能機械	電気情報	物質	環境都市	計	就職先	知能機械	電気情報	物質	環境都市	計	進学先	知能機械	電気情報	物質	環境都市	計
[企業]						(株)中研コンサルタント			1	1	2	[進学]					
アクア化学(株)			1	1		D I C(株)			1	1		和歌山高専専攻科	6	5	9	3	23
朝日インテック(株)	1			1		寺崎電気産業(株)		1			1	北見工業大学			1		1
旭化成(株)	1		2	3		電源開発(株)				1	1	信州大学		1			1
ANAラインメンテナンステクニクス(株)		1		1		東海旅客鉄道(株)		1		2	3	長岡技術科学大学		1			1
(株)SRD		1		1		東京急行電鉄(株)				1	1	電気通信大学	1				1
エスケー化研(株)			1	1		東洋インキSCホールディングス(株)			1		1	東京農工大学			1		1
NEC ネットズエスアイ(株)		1		1		西日本高速道路(株)				1	1	岐阜大学				1	1
(株)NHKテクノロジー (旧・(株)NHKメディアテクノロジー)		1		1		西日本旅客鉄道(株)				2	2	豊橋技術科学大学	5	2	1		8
エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)				2	2	西松建設(株)				1	1	京都工芸繊維大学			1		1
(株)NTT-ME		1		1		日鉄物流(株) (旧・日鉄住金物流(株))		1		1	1	和歌山大学	1				1
(株)エヌ・ティ・ティネオメイト		2		2		日東電工(株)		1		1	1	徳島大学				3	3
(株)NTTフィールドテクノ	1			4	5	ノーリツプレジジョン(株)		1		1	1	九州大学				1	1
王子マテリア(株)	1			1		(株)初山				1	1	佛教大学			1		1
大阪ガス(株)	1		1	1	3	パナソニック(株)コネクテッドソリューションズ社	1				1	徳島文理大学			1		1
オリックス・ファシリティーズ(株)			1	1	1	(株)ファインディックス		1			1						
カイロスキ(株)		1		1	1	ファナック(株)		1			1						
花王(株)	2	1	3	6		富士通(株)			1		1						
笠野興産(株)			1	1	1	フジテック(株)		2			2						
(株)カネカ			1	1	1	マツダ(株)		1			1						
川崎重工業(株)	1			1	1	三菱電機エンジニアリング(株)		1			1						
関西エアポートテクノロジーズ(株) (旧・関西国際空港エンジニアリング(株))	1	3		4	4	三菱電機システムサービス(株)		2			2						
関西電力(株)	1	2		3	3	ミライト情報システム(株)		1			1						
(株)カンセツ	1			1	1	(株)村田製作所		1			1						
紀州ファスナー工業(株)	1	1		2	2	森永乳業(株)		1	1		2					1	1
キヤノン(株)	1	1		2	2	山崎製パン(株)		1			1						
クオリティソフト(株)		1		1	1												
(株)クボタ	2			2	2												
五洋建設(株)				1	1												
沢井製薬(株)			1	1	1												
サントリースピリッツ(株)	1			1	1	小計	30	27	22	22	101						
サントリービール(株)			1	1	1	[官公庁等]											
サントリープロダクツ(株)			1	1	1	防衛省(陸上自衛隊)	1				1						
塩野義製薬(株)			1	1	1	大阪府					1	1					
(株)シマノ	1			1	1	和歌山県					2	2					
ジャパンマリンユナイテッド(株)	1			1	1	大阪市		1			1						
(株)神鋼環境ソリューション				1	1	海安市					1	1					
住友電気工業(株)		1		1	1	御坊市					1	1					
住友電設(株)		1		1	1	(一社)日本血液製剤機構			1		1						
第一工業製薬(株)			1	1	1	(独)水資源機構					1	1					
ダイキン工業(株)	1			1	1	和歌山県土地改良事業団体連合会					1	1					
(株)ダイセル			1	1	1												
大鉄工業(株)				1	1												
高田機工(株)				1	1												
(株)タマディック	1			1	1	就職計	31	28	23	29	111	就職・進学合計	44	37	38	38	157

〈専攻科進路〉

2018年度の専攻科修了生の進路は企業等への就職が60パーセント、大学院研究科への進学が40パーセントでした。

大学院進学（専攻科）

大学院進学先	年度		2016		2017		2018	
	メ	カ	メ	カ	メ	カ	メ	カ
横浜国立大学大学院				1		1		
長岡技術科学大学大学院								1
筑波大学大学院						1		
東京大学大学院								1
東京海洋大学大学院								1
豊橋技術科学大学大学院					1			
北陸先端科学技術大学院大学				1				
京都大学大学院								2
大阪大学大学院				1				
神戸大学大学院				1		2		2
奈良先端科学技術大学院大学	1					1		1
大阪市立大学大学院				1				
早稲田大学大学院					2			
合計	1			5	3	5	0	8

専攻科就職先一覧

就職先	年度		2016		2017		2018	
	メ	カ	メ	カ	メ	カ	メ	カ
アイコム(株)	1							
旭化成(株)								1
(株)アルバック	1							
(株)SRD	1							
(株)大阪ソーダ						1		
花王(株)				1		1	1	
川崎重工業(株)							1	
関西エアポートテクニカルサービス(株) (旧・新関西国際空港エンジニアリング(株))								1
(一財) 雑賀技術研究所				1				
沢井製薬(株)				1		1		
サントリースピリッツ(株)							1	
(株)GSユアサ					1			
JXTGエネルギー(株)	1							
(株)ジュピターテレコム							1	
(株)島精機製作所					1			
住友電気工業(株)					1			
セイカ(株)								1
(株)たにぐち				1				
寺崎電気産業(株)							1	
TOA(株)					1			
日鉄住金テックスエンジ(株)	1							
阪神高速技術(株)					1			
(株)ファインディックス							1	
富士電機(株)					1			
三井化学(株)大阪工場								1
三菱電機(株)通信機製作所	1							
三菱電機(株)冷熱システム製作所					1			
(株)明治関西工場							1	
ユニチカ(株)						1		
和歌山県				1				
和歌山市						1		
その他							1	
合計	6			5	7	5	8	4

12. 学生

2019年5月現在、本科の現員は816名、専攻科の現員は48名、計864名の学生が本校に在籍しています。近年は女子学生が増加する傾向にあり、現在、本科に168名、専攻科に7名、計175名

の女子が在籍しています。

またマレーシア、カンボジア、ラオス、モンゴル、ウガンダからの外国人留学生9名が日本人学生とともに学んでいます。

〈本科〉

学生の定員及び現員

2019年5月1日現在

学科	区分	学級数	入学定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
知能機械工学科		1	40	42 (5)	40 (7)	46 (2)	35 (3) (1)	34 (2)	197 (19) (1)
電気情報工学科		1	40	40 (6)	43 (5)	42 (6) (2)	44 (5) (1)	36 (4)	205 (26) (3)
物質工学科		1	40	/	/	/	42 (17)	40 (15) (2)	82 (32) (2)
生物応用化学科		1	40	41 (14)	40 (18)	41 (15) (1)	/	/	122 (47) (1)
環境都市工学科		1	40	41 (9)	41 (8)	43 (10) (1)	41 (9)	44 (8) (1)	210 (44) (2)
計		4	160	164 (34)	164 (38)	172 (33) (4)	162 (34) (2)	154 (29) (3)	816 (168) (9)

() 内は女子内数 () は外国人留学生内数

入学志願者及び入学者

2019年5月1日現在

学科	年度	2015		2016		2017		2018		2019	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
知能機械工学科		75 (3)	40 (2)	57 (2)	40 (2)	62 (4)	40 (2)	62 (8)	41 (7)	63 (8)	41 (5)
電気情報工学科		70 (6)	41 (2)	63 (8)	40 (5)	58 (8)	40 (6)	80 (5)	42 (5)	65 (10)	40 (6)
物質工学科		62 (22)	40 (15)	51 (18)	40 (16)	/	/	/	/	/	/
生物応用化学科		/	/	/	/	66 (24)	40 (16)	59 (23)	40 (18)	66 (20)	40 (14)
環境都市工学科		57 (12)	40 (10)	66 (15)	40 (9)	62 (14)	40 (9)	73 (15)	40 (8)	69 (13)	41 (9)
計		264 (43)	161 (29)	237 (43)	160 (32)	248 (50)	160 (33)	274 (51)	163 (38)	263 (51)	162 (34)

※試験の結果第二志望の学科に入学した場合は、実際に入学した学科の志願者として集計

() 内は女子内数

高校からの編入学志願者及び編入学者

2019年5月1日現在

学科	年度	2015		2016		2017		2018		2019	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
知能機械工学科		2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)
電気情報工学科		6 (0)	3 (0)	6 (0)	3 (0)	5 (0)	2 (0)	4 (2)	4 (2)	4 (1)	1 (0)
物質工学科				1 (1)							
環境都市工学科						1 (1)	1 (1)	3 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)
計		8 (0)	5 (0)	8 (1)	4 (0)	7 (1)	4 (1)	9 (2)	7 (2)	8 (1)	2 (0)

() 内は女子内数

〈専攻科〉

学生の定員及び現員

2019年5月1日現在

専攻	区分	学級数	入学定員	1年	2年	計
メカトロニクス工学専攻		1	8	11	11 (1)	22 (1)
エコシステム工学専攻		1	8	12 (3)	14 (3)	26 (6)
計		2	16	23 (3)	25 (4)	48 (7)

() 内は女子内数

入学志願者及び入学者

2019年5月1日現在

専攻	年度	2019	
		志願者	入学者
メカトロニクス工学専攻		15 (0)	11 (0)
エコシステム工学専攻		16 (3)	12 (3)
計		31 (3)	23 (3)

() 内は女子内数

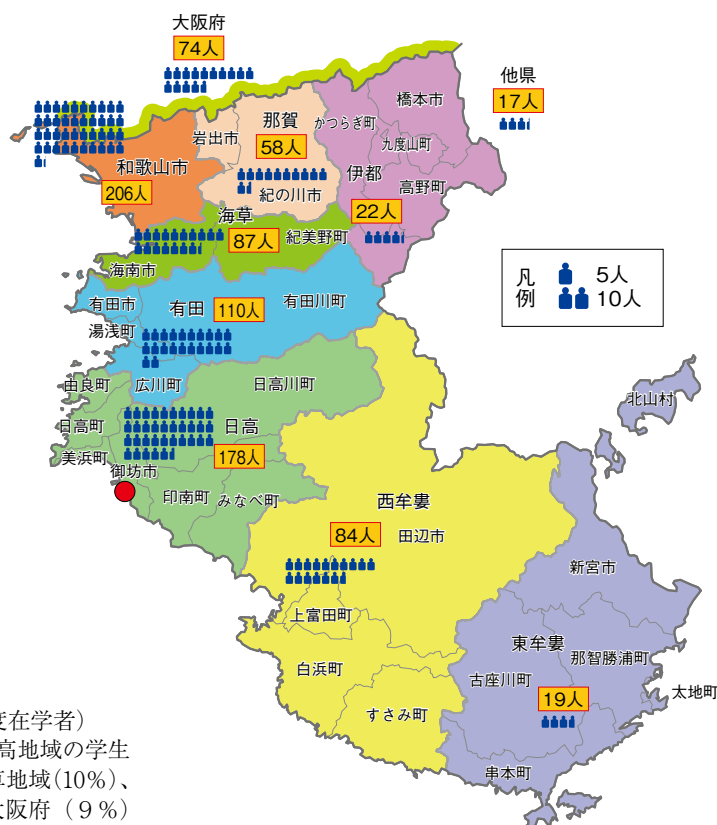
在学生の出身地（分布図）

外国人留学生

2019年5月1日現在

国	学 科	3年	4年	5年	計	
マレーシア	知能機械工学科		(1)		(1)	
〃	物質工学科			1	(0)	
〃	環境都市工学科	1		(1)	(1)	
カンボジア	物質工学科			1	(0)	
ラオス	電気情報工学科		1		(0)	
モンゴル	電気情報工学科	2		1	(0)	
ウガンダ	生物応用化学科	1			(0)	
計		4	(0)	(1)	(1)	(2)

() 内は女子内数



在学生の出身地（出身中学校所在地に基づく集計：2019年度在学者）

和歌山市が24%と最も多く、本校所在地の御坊市を含む日高地域の学生は21%です。続いて、近隣の有田地域(13%)、海南市を含む海草地域(10%)、田辺市を含む西牟婁地域(10%)の学生が多く、県外では大阪府(9%)が最も多くなっています。

2019年5月1日現在

出身地	学年	1年	2年	3年	4年	5年	本科計	専攻科1年	専攻科2年	専攻科計	総計
和歌山県		144 (33)	155 (35)	150 (32)	142 (33)	130 (25)	721 (158)	20 (3)	23 (4)	43 (7)	764 (165)
地 域	和歌山市	35 (4)	37 (9)	38 (5)	45 (14)	39 (5)	194 (37)	5 (1)	7 (2)	12 (3)	206 (40)
	海草	13 (0)	16 (3)	18 (2)	22 (1)	17 (1)	86 (7)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	87 (7)
	那賀	13 (2)	12 (3)	11 (0)	6 (0)	13 (1)	55 (6)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	58 (6)
	伊都	2 (0)	5 (0)	7 (2)	4 (1)	2 (0)	20 (3)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	22 (3)
	有田	18 (5)	27 (6)	31 (7)	15 (3)	14 (4)	105 (25)	1 (0)	4 (1)	5 (1)	110 (26)
	日高	35 (10)	36 (7)	33 (10)	31 (10)	27 (9)	162 (46)	8 (2)	8 (0)	16 (2)	178 (48)
	西牟婁	23 (8)	18 (4)	9 (5)	17 (4)	14 (4)	81 (25)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	84 (25)
東牟婁	5 (4)	4 (3)	3 (1)	2 (0)	4 (1)	18 (9)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	19 (10)	
大阪府		17 (1)	7 (1)	14 (1)	15 (0)	16 (3)	69 (6)	3 (0)	2 (0)	5 (0)	74 (6)
他 県		3 (0)	2 (2)	4 (0)	3 (0)	5 (0)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)
計		164 (34)	164 (38)	168 (33)	160 (33)	151 (28)	807 (166)	23 (3)	25 (4)	48 (7)	855 (173)

() 内は女子内数



留学生茶話会

●入学金は 84,600円です。授業料には、1～3年生に原則として高等学校と同様の「就学支援金制度」の適用があり、所得に応じ年額0円、56,400円、115,800円または 234,600円の負担となります。また、4年生から専攻科生は、一律 234,600円ですが、右記のとおり授業料免除の適用を申請できます。

奨学金

2018年度実績

学年	区分	日本学生支援機構			和歌山県	奈良県	大阪府	天野	中津基金	その他	計
		第一種	第二種	給付型							
1年		4			2	0	0		0	0	6
2年		3			2	1	0		0	1	7
3年		6			6	0	0		0	1	13
4年		10	3	1	3	0	0		5	5	27
5年		11	1	2	1	0	1	1	0	2	19
専攻科1年		1	0	0	0	0	0		0	2	3
専攻科2年		4	0	0	0	0	0		0	0	4
計		39	4	3	14	1	1	1	5	11	79

授業料免除

2018年度実績

学年	区分	前 期				後 期			
		希望者数	全額免除者数	半額免除者数	免除者数/対象者数(%)	希望者数	全額免除者数	半額免除者数	免除者数/対象者数(%)
4年		23	15	5	12.5	24	15	3	11.5
5年		20	12	4	10.1	21	12	5	10.8
専攻科1年		1	0	1	4.0	1	0	0	0.0
専攻科2年		5	2	3	25.0	5	1	3	20.0
計		49	29	13	11.6	51	28	11	10.9

クラブ活動

本校学生はクラブ活動を通して、高専体育大会、高専ロボコン大会、高専各種コンテスト、県高校体育連盟、県高校野球連盟等の競技大会で活躍しています。また、演奏会や公開講座などによって地域の文化向上にも貢献しています。

体育系クラブ

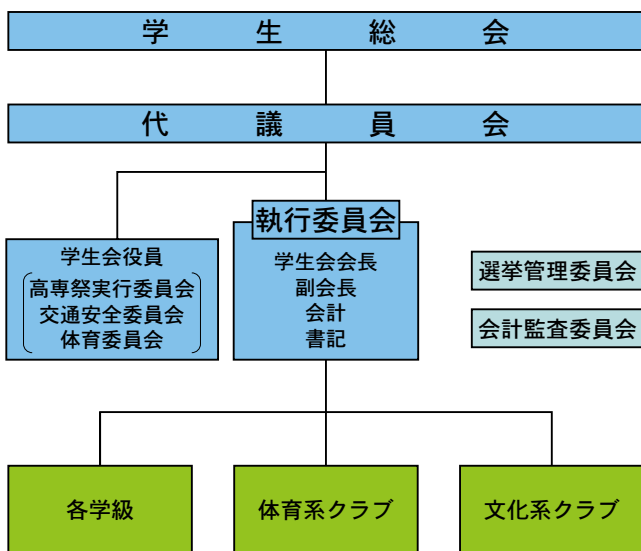
陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、フットサル部、テニス部（硬式）、ソフトテニス部、水泳部、バレーボール部（男女）、バスケットボール部（男女）、バドミントン部、卓球部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、弓道部、少林寺拳法部

文化系クラブ

ロボコン部、コンピュータ部、吹奏楽部、軽音楽部、サイエンス同好会、音楽同好会、写真同好会、総合美術同好会、ボランティアサークル・アメーバ

学生会

本会は、学生の自発的な活動を通してその人間形成を助長することを目的に学生会員で構成されています。学生会の活動中心である執行委員会は、高専祭、体育大会などを主催するほか、近畿地区高専との交流会等を通じ、自主活動の研鑽に努めています。



学生総会



校内体育大会・ソフトボール



高専祭・軽音楽部ライブ



高専祭・クラス企画



定期演奏会・吹奏楽部



クラブリーダー研修会



H30近畿地区高専大会
女子バレーボール1位(7連覇)



H30全国高専大会
剣道男子団体第3位



H30近畿地区高専大会
女子ソフトテニス個人ダブルス1位



H30近畿地区高専大会
水泳男子100m自由形1位



H30全国高専ロボコン大会・
デザイン賞(ロボコン部)



農道舗装
(ボランティアサークル・アメーバ)

学生寮 (相紀寮)

集団生活を通じて人間形成を図る教育の場として、和歌山高専は学生寮（相紀寮）を設置しています。

協力と信頼に基づく集団生活から、自立と協調の精神や豊かな人間性が養われます。寮生活や学習の指導には、上級生の指導寮生があたり、寮生で組織された寮生会が、学寮生活に彩りを添える、さまざまな行事を開催します。

第1・第2学年の男子学生（入寮2年まで）は、原則として全寮制となっており、入寮3年目以降は選考により入寮を許可します。女子学生は任意制（選考有り）となっています。

なお、最近の女子学生数の増加に伴い、平成30年度にラーニングコモンズ機能を備えた女子寮の改修工事を実施しました。

男子寮6棟（男子学生454名）
女子寮2棟（女子学生114名）
合計568名（留学生・専攻科生を含む。）

各室定員 低学年2～3名 高学年1～2名
寄 宿 料 700～800円（月額）
各室備品 学習机・書棚・ベッド・ロッカー・
エアコン・
インターネット接続用モジュージャック
補食室備品 冷蔵庫・電子レンジ・IHコンロ
洗濯室備品 洗濯機・乾燥機
談話室備品 テレビ・エアコン・
インターネット接続用無線LAN



男子寮居室



女子寮居室



寮食堂



寮食メニュー



談話室



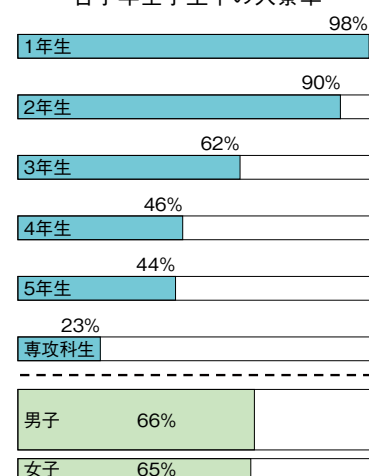
補食室

2019年5月1日現在

各学年全学生中の入寮率

	知能機械 工学科	電気情報 工学科	物質 工学科	生物応用 化学科	環境都市 工学科	メカトロニクス 工学専攻	エコシステム 工学専攻	計
1年	40 (5)	40 (6)	/	41 (14)	39 (8)			160 (33)
2年	37 (7)	37 (4)	/	36 (16)	37 (7)			147 (34)
3年	25 (1)	23 (2) (2)	/	33 (11) (1)	26 (7) (1)			107 (21) (4)
4年	19 (2) (1)	23 (3) (1)	20 (6)	/	13 (2)			75 (13) (2)
5年	18 (0)	11 (1)	20 (6) (2)	/	19 (3) (1)			68 (10) (3)
専攻科						3 (0)	8 (3)	11 (3)
計	139 (15) (1)	134 (16) (3)	40 (12) (2)	110 (41) (1)	134 (27) (2)	3 (0)	8 (3)	568 (114) (9)

() 内は女子内数 () は外国人留学生内数



餅つき大会



月例大掃除の様子



相紀寮全景

13. 学年暦・学校行事



入学式



ウェルカミングパーティー



校内体育大会

前 学 期

入学式
始業式
創立記念日



寮生避難訓練

専攻科入学試験 (推薦)
専攻科入学試験 (社会人)

専攻科入学試験 (学力)
編入学試験 (推薦)
前期中間試験
授業参観

前期末試験
編入学試験 (学力)

保護者個別懇談

オープンキャンパス
夏季休業

4月

入寮
定期健康診断
指導寮生任命式・研修会
救急救命講習会
学生会クラブ紹介
寮生避難訓練
新入生オリエンテーション
ウェルカミングパーティー

5月

校内体育大会
学生総会
寮生総会

6月

寮部屋替 (1年)
寮祭
留学生スピーチ大会
近畿地区高専体育大会

7月

上海電機学院から短期留学
なるほど体験科学の祭典

8月

閉寮
公開講座
全国高専体育大会

9月

開寮
寮部屋替 (1・2年)



研修旅行



救急救命講習会



寮生総会



英語プレコン近畿大会



高専祭



ロボコン全国大会

後 学 期

研修旅行
学校説明会



上海短期留学

後期中間試験

冬季休業

体験実習入試
学校長推薦入試

後期末試験
学力検査入試／帰国子
女特別選抜入試
終業式

卒業証書授与式
学年末休業

10月

プログラミングコンテスト本選
指導寮生任命式・研修会
寮生避難訓練
ロボコン近畿地区大会
高専祭

11月

英語プレコン近畿大会
指導寮生研修会（他高専訪問）
学寮スポーツ大会
ロボコン全国大会
進路指導説明会
産業勉強会
消防避難訓練

12月

デザインコンペティション
閉寮

1月

開寮
ニューイヤースポーツフェスティバル
学生総会
寮生総会
英語プレコン全国大会

2月

本科卒業研究発表会

3月

閉寮
上海電機学院短期留学派遣



ニューイヤー
スポーツフェスティバル



卒業証書授与式



卒業生記念撮影

14. 校舎配置図

建 物	
校 舎	
1	本館(総合教育科・管理部)
2	本館(生物応用化学科)
3	本館(電気情報工学科)
4	本館(知能機械工学科)
5	環境都市工学科棟
6	地域共同テクノセンター
7	普通教室棟
8	ものづくりセンター
9	情報処理教育センター
10	水理実験室
11	門衛所
12	バス車庫
13	事務倉庫1
14	事務倉庫2
15	用具倉庫
16	危険物貯蔵所
17	物質化学実験室
18	陸上器具庫
19	体育用具庫
20	車庫
21	廃水処理施設
22	専攻科棟
23	図書館



敷 地 計101,400㎡	
校舎敷地	44,566
寄宿舎敷地	18,130
運動場敷地	35,267
その他敷地	3,437

屋内運動場	
24	武道場
25	第1体育館
26	第2体育館
27	屋外便所1
28	屋外便所2
29	体育器具庫
30	プール附属屋
31	弓道場

福利厚生施設	
32	福利センター・国際交流会館
33	課外活動施設
34	部室1
35	部室2

寄 宿 舎	
36	寄宿舎食堂・浴室
37	寄宿舎1号館・事務室
38	寄宿舎2号館
39	寄宿舎3号館
40	寄宿舎4号館
41	寄宿舎5号館
42	寄宿舎6号館
43	寄宿舎7号館
44	寄宿舎8号館
45	食品倉庫
46	寄宿舎ボイラー室
47	寄宿舎電気室



ものづくりセンター



情報処理教育センター



武道場



寄宿舎8号館



福利センター・国際交流会館



課外活動施設



第1体育館

15. 施設・支援

学生の休息施設

学生の休息施設として、学生食堂、オープンラウンジ、アメニティルームがあります。また、屋外にもベンチを設けており、休憩時の憩いの場となっています。



オープンラウンジ



学生食堂前談話室



屋外ベンチとテーブルセット

障害者の支援

和歌山高専での障害者支援は、障害学生支援ワーキンググループで対応し、様々な支援を行います。また、スロープ、エレベータ、自動ドアや障害者用トイレ等、障害者用施設も充実しています。



スロープ



エレベータ(3基)



障害者用トイレ(3箇所)

留学生の支援

和歌山高専では、たくさんの留学生が学習しており、生活や勉強の面で留学生を支えるチューター（学生）を3年次に配置しています。また、留学生を対象としたイベントや、留学生のための施設も充実しています。



留学生指導室



外国人留学生研修旅行



留学生スピーチ大会

学生の健康支援

学生の健康管理・支援のため国際交流会館内の保健室に看護師が常駐しています。また、臨床心理士を委嘱し、週二回校内の「オレンジルーム」にてカウンセリングを行っており、校医のクリニックも校地に隣接しています。



保健室



オレンジルーム



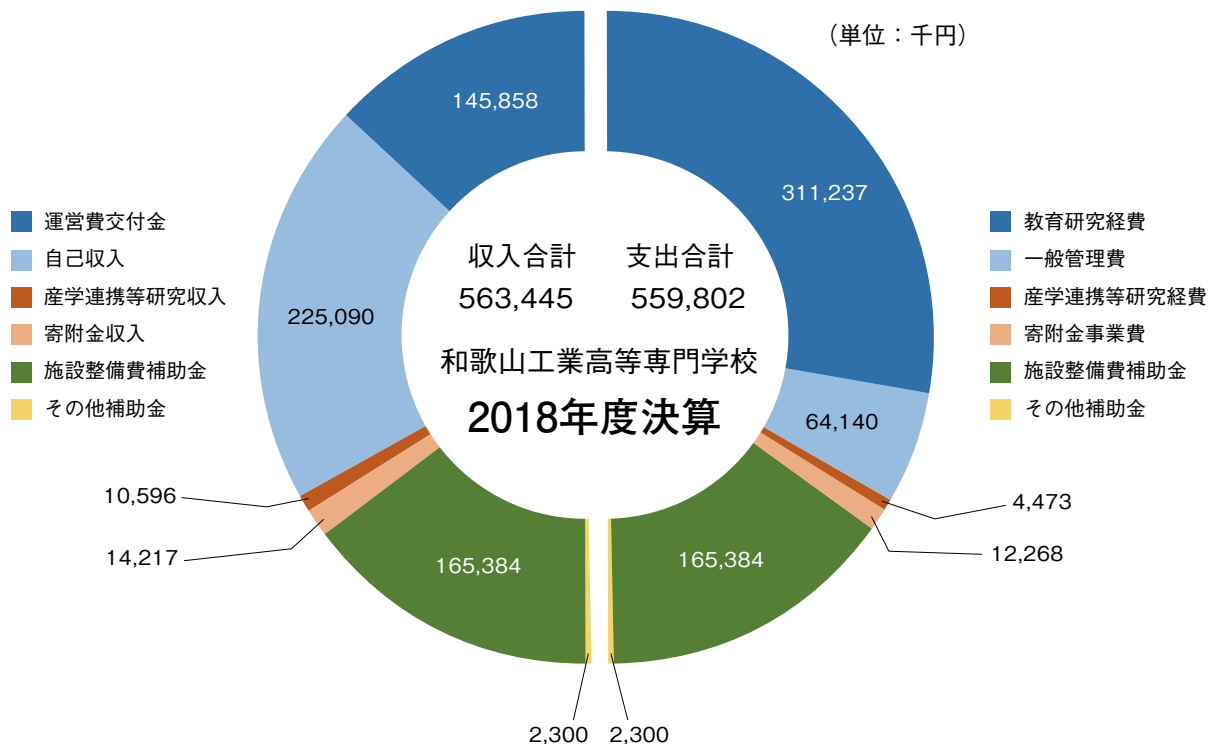
16. 会計

2018年度決算

(単位：千円)

収入	金額	%	支出	金額	%
運営費交付金	145,858	25.9	教育研究経費	311,237	55.6
自己収入	225,090	40.0	一般管理費	64,140	11.5
産学連携等研究収入	10,596	1.9	産学連携等研究経費	4,473	0.8
寄附金収入	14,217	2.5	寄附金事業費	12,268	2.2
施設整備費補助金	165,384	29.4	施設整備費補助金	165,384	29.5
国立大学財務・経営センター 施設費交付事業費	0	0.0	国立大学財務・経営センター 施設費交付事業費	0	0.0
その他補助金	2,300	0.4	その他補助金	2,300	0.4
計	563,445	100.0	計	559,802	100.0

* 収入および支出の計の差は、産学連携等研究収入および寄附金収入が2018年度の受入金額であり、対する支出は前年度からの繰越額を含めた財源からの支出および翌年度への繰越額等が存在するためである。



独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77

代表電話番号 0738-29-2301

FAX 0738-29-8216

Eメール info@wakayama-nct.ac.jp

<http://www.wakayama-nct.ac.jp/>

National Institute of Technology (KOSEN), Wakayama College

2019年6月発行

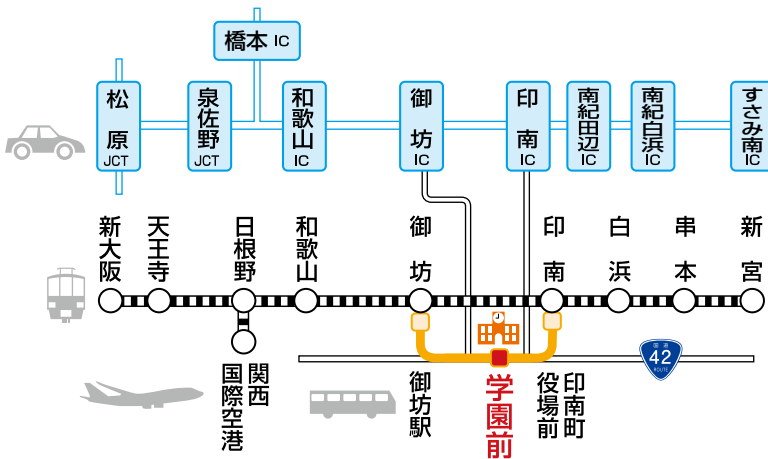
ACCESS



和歌山工業高等専門学校を支援する和歌山県内の企業

(50音順、令和元年6月現在)

- 紀州技研工業(株)
- クオリティソフト(株)
- 小西化学工業(株)
- (株)島精機製作所
- 新中村化学工業(株)
- スガイ化学工業(株)
- セイカ(株)
- 大和歯車製作所(株)
- 竹島鉄工建設(株)
- (株)タニガキ建工
- 築野食品工業(株)
- デュプロ精工(株)
- (株)日本化学工業所
- (株)初山
- 阪和電子工業(株)
- 三菱電機(株)冷熱システム製作所



- ◎御坊駅から、御坊南海バスの印南町役場前行きに乗車、約20分で学園前バス停下車。
- ◎印南駅から、御坊南海バス印南町役場前バス停まで徒歩2分、御坊駅行きに乗車、約10分で学園前バス停下車。



独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), WAKAYAMA COLLEGE

<http://www.wakayama-nct.ac.jp/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。